

平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事

1	改修工事特記仕様書（建築） i	1 1	建具表・建具図
2	改修工事特記仕様書（建築） ii	1 2	天井伏図・部分詳細図
3	配置図	1 3	改修工事特記仕様書（電気）
4	既設平面図	1 4	電灯設備図
5	現況平面詳細図	1 5	コンセント設備図
6	改修後平面詳細図	1 6	誘導支援設備図
7	現況展開図 i	1 7	改修工事特記仕様書（機械）
8	改修後展開図 i	1 8	機器リスト
9	改修後展開図 ii	1 9	屋内給排水設備図
1 0	改修後展開図 iii	2 0	空気調和設備図

工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名	
縮尺	図面No.
作成者	作成 訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号 氏名	伊賀市 建設部建築住宅課

工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事

I 工事概要

1. 工事場所 伊賀市 沖 地内

2. 工事内容 建物名：依那古地区市民センター

・共用トイレ改修工事

男性用トイレ

女性用トイレ

みんなのトイレ（多目的トイレ）

・和室畳床下板張替え工事

・屋外コンクリート舗装工事

屋外掲示板撤去

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」（以下「改標仕」）による。

2. 特記仕様

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項は、◎の付いたものを適用する。

◎印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3)特記事項に記載の（ ）内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該図又は当該表を示す。

Table with 3 columns: Chapter (章), Item (項目), Particulars (特記事項). Contains detailed specifications for general items, materials, construction conditions, and technicians.

Table with 3 columns: Item No. (⑥), Item Name (書類の書式), and Description (工事施工における提出書類は、次による). Lists required documents like construction schedules, insurance, and material specifications.

Table with 3 columns: Item No. (②), Item Name (仮設工事), and Description (施工図, 養生その他, 事故報告, etc.). Details temporary construction, safety measures, and material specifications for the toilet renovation.

Table with 3 columns: Item No. (⑤), Item Name (内装改修工事), and Description (一般事項, 既存床撤去, 既存壁撤去, etc.). Details interior renovation work, including wall and floor removal, and material specifications.

Project information box containing: 工事名 (Project Name), 図面名 (Drawing Name), 縮尺 (Scale), 図面No. (Drawing No.), 作成者 (Author), 資格名・登録番号及び氏名 (Qualification, Registration No., and Name), and 氏名 (Name).



工法
下地 (6.8.3(a))
①モルタル下地 ・木下地 ・その他 ()
ビニル床シート張り (6.8.3(b))
熱溶接工法 ①適用する ・適用しない
8 畳敷き 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (6.12.2)(表6.12.1)

(6.13.2)(表6.13.1)

名称	種類	規格、区分等	厚さ (mm)	
せつこうボード製品	せつこうボード (②B-R)		壁	・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
			天井	・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)
	・ジグザグせつこうボード (②B-S)		・12.5 (不燃) ・12.5 (準不燃)	
	・強化せつこうボード (②B-F)		・12.5 (不燃) ・	
	・せつこうボード (②B-L)		※9.5	
	・不燃積層せつこうボード (②B-W)	積層無し	※9.5 (不燃)	
		トラバーチン	※9.5 (不燃)	
	①化粧せつこうボード (②B-U)	普通	・トラバーチン ①9.5 (準不燃)	
		特殊	・木目模様 ①9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃)	
	吸音材料	・ロックウール吸音ボード (RW-B)	1号	・2.5
・グラスウール吸音ボード (GW-B)		2号 32K	・2.5 ガラスクロス包	
・ウレタン樹脂吸音 (UR)		内部用	普通	・9.0 (不燃) ・12
		軒天用	普通	・12.0 (不燃) ・
繊維強化セメント	①301製カルクウム板 (②BQ)		①10.0	
	・天然不燃化粧板	・なら ・しおじ	化粧板厚0.3未満 厚 ※4.2	
合板	①特殊加工化粧板	・メラミン化粧板	※3.0	
		・ポリエステル化粧板	・	
	・有孔合板	・シナ	・5.5	

合板類、MDF及びパネルボードのホルムアルデヒドの発散量
②F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
遮音シール材
・適用する (アクリル系シリング材・ジョイントコバウト) ①適用しない

①壁紙張り ホルムアルデヒドの発散量 ②F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (6.14.2)

施工箇所	品質の程度	防火性能
壁		不燃

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

①断熱材 ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量
②F☆☆☆☆ ・F☆☆☆

断熱材打込み工法 (9.5.2)

種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム	・保温板2種b	・2.5 ・5.0	・
	・保温板3種b	・2.5	・
・硬質ウレタンフォーム	・	・5.0	・
・グラスウール	・24kg/m3	①5.0	・

上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

断熱材現場発泡工法 (9.5.3)

難燃性	厚さ (mm)	施工箇所
・2級	・2.5	※窓回り等の断熱材補修部分、ルネン回りの床下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・3級	・	・

上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。

①接着剤 壁紙施工用でん粉系接着剤、コア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量
②F☆☆☆☆ ・F☆☆☆

⑥ ①材料 建物内部に使用するコア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量
②F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)
②下地調整

(7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)

種別	下地	種別
①木部	・RA種	②RB種 ・RC種
・鉄鋼面	・RA種	・RB種 ・RC種
・亜鉛めっき面	・RA種	※RB種 ・RC種
・珪藻土面、フラスコ面	・RA種	※RB種 ・RC種
・コンクリート、AC/Lパネル面	・RA種	※RB種 ・RC種
・コンクリート、押出成形珪藻土板面	・RA種	・RB種 ・RC種
・せつこうボード、その他のボード	・RA種	※RB種 ・RC種

③ ③ 錆止め 塗料塗り (7.3.2)(表7.3.1)
鉄鋼面錆止め塗料 ※A種 (屋外、屋内) ・B種 (屋内)
錆止め塗料塗り種別 (7.3.3)(表7.3.3~7.3.4)
鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき面 ・A種 ・B種 ※C種

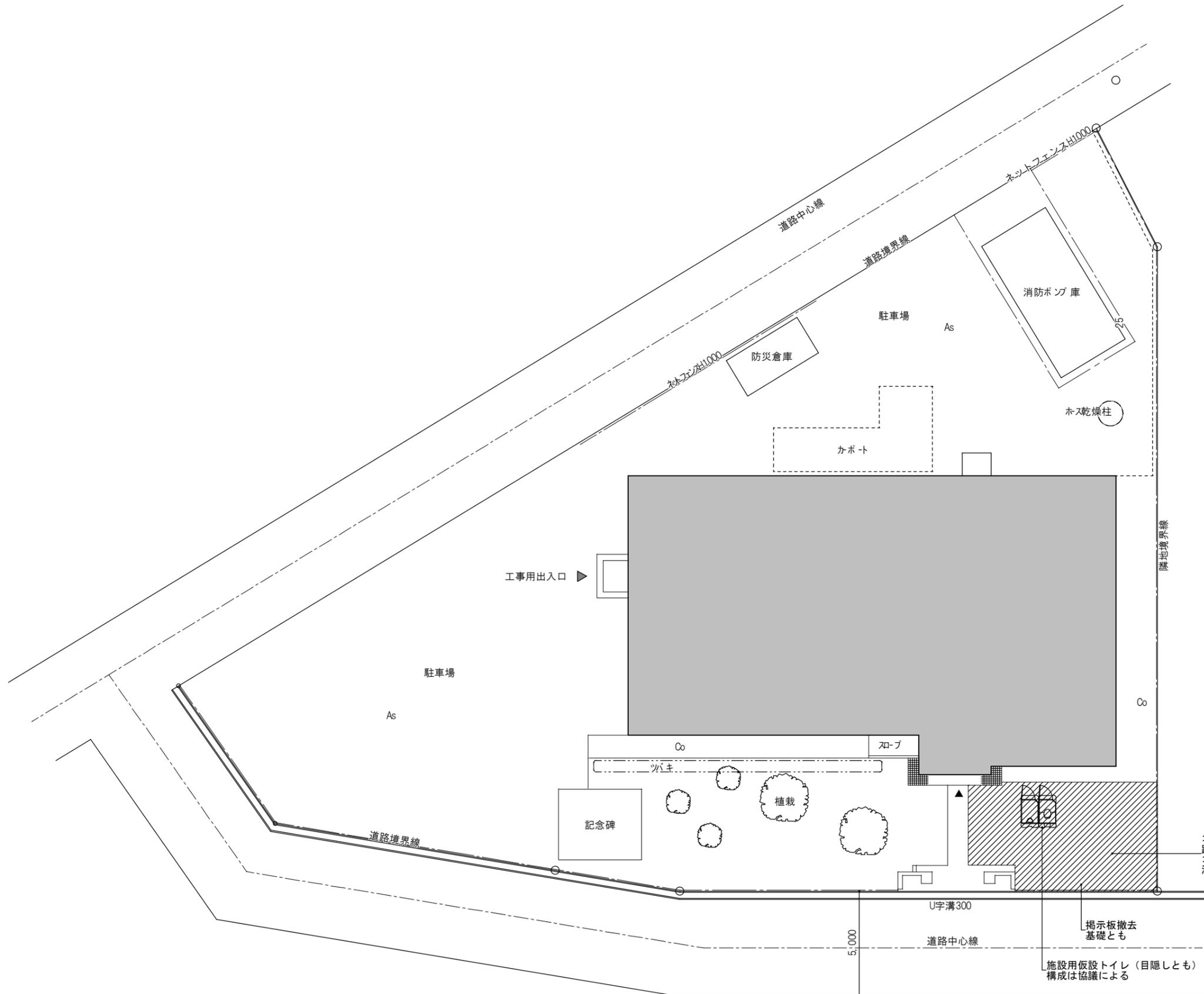
④ ④ 合成樹脂 調整ペイント 塗り (7.4.2)
種別 (7.4.3~7.4.5)(表7.4.1~7.4.3)

下地	種別
①木部	②A種 ・B種 ・C種
・鉄鋼面	・A種 ※B種 ・C種
・亜鉛めっき面	・A種 ・B種 ・C種

⑤ ⑤ オイルステイン 塗り (7.14.2)(表7.14.1)

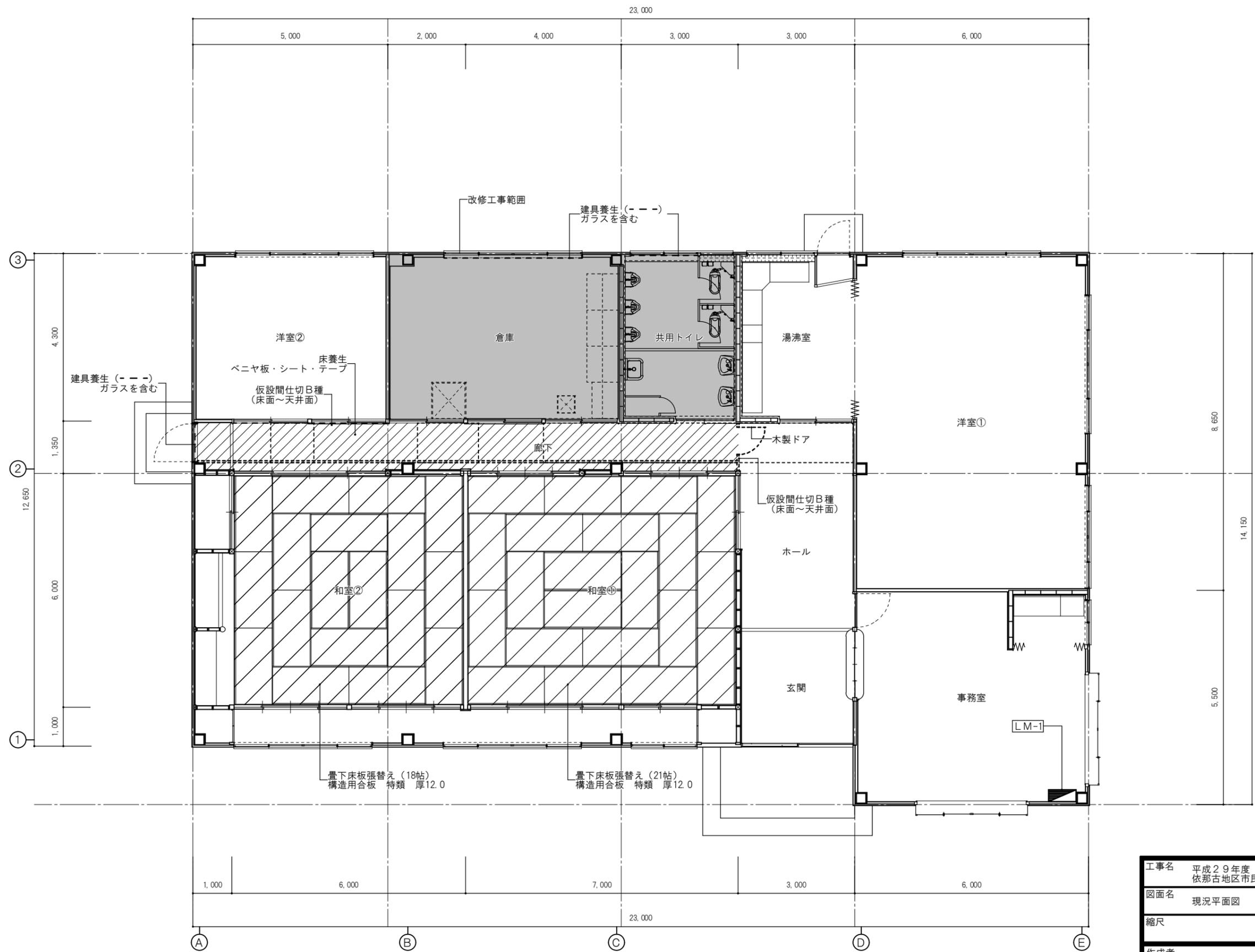
7 耐震改修工事
1 鋼材 ・S-01図による (8.2.8)
2 高力ボルト ・S-01図による (8.2.9)
3 溶接材料 ・S-01図による (8.2.10)
4 鉄骨工作 ・S-01図による (8.12.2)
5 高力ボルト接合 ・S-01図による (8.13.2)
6 溶接管理技術者 ・適用する ・適用しない (8.14.2)
7 錆止め塗料 鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種別は、下記とする。 (8.16.2)
・JIS K 5674
・工場2回

工事名	平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名	改修工事特記仕様書 (建築) ii	
縮尺	図面No.	2
作成者	作成	
	訂正	
資格名・登録番号及び氏名	級建築士 第 号	伊賀市 建設部 建築住宅課
氏名		印

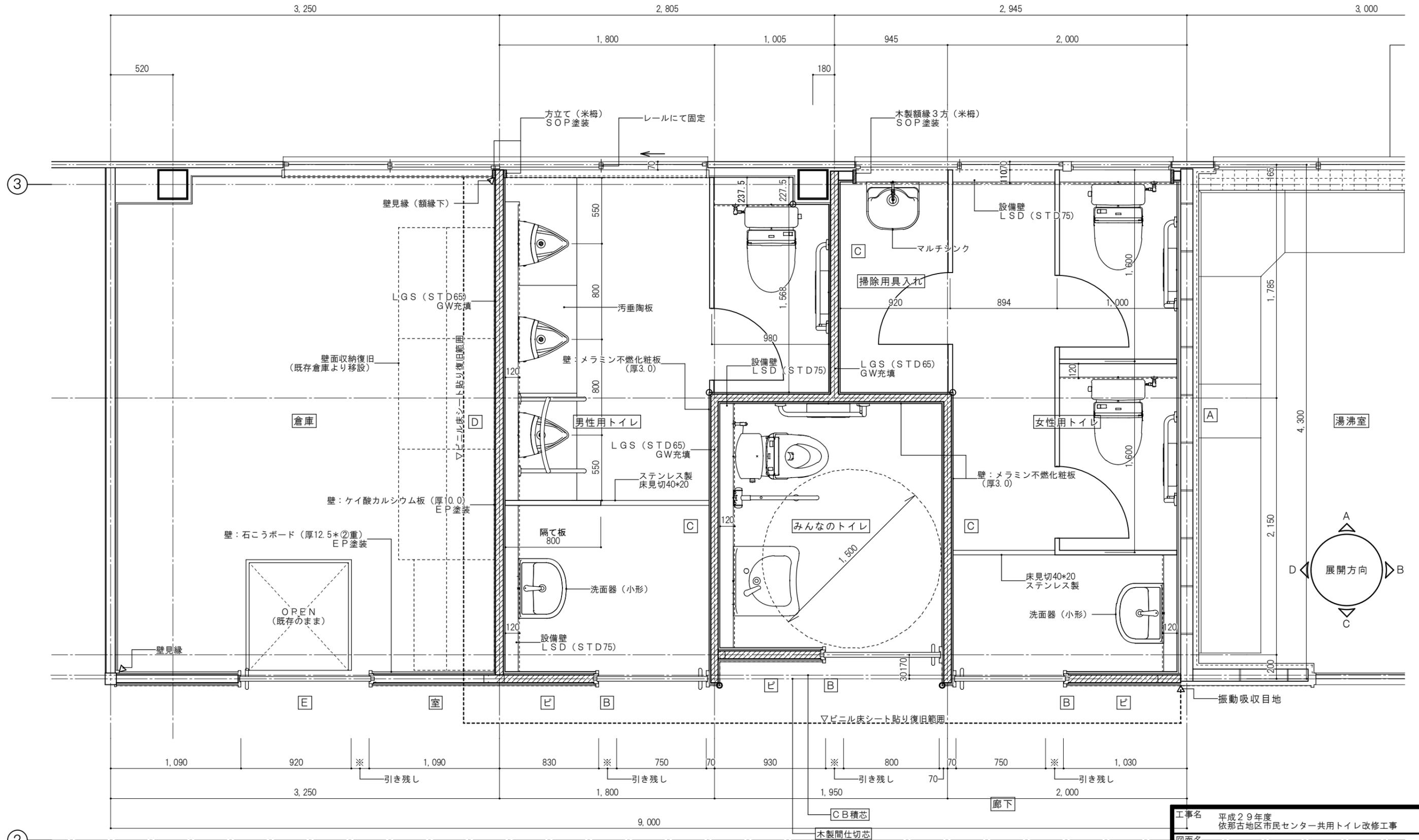


コンクリート舗装
 路盤(再生材) 厚100
 コンクリート 厚70
 溶接金網敷き

工事名	平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名	配置図	
縮尺	図面No.	3
作成者	作成	
	訂正	
資格名・登録番号及び氏名	級建築士 第 号	
氏名	伊賀市 建設部建築住宅課	



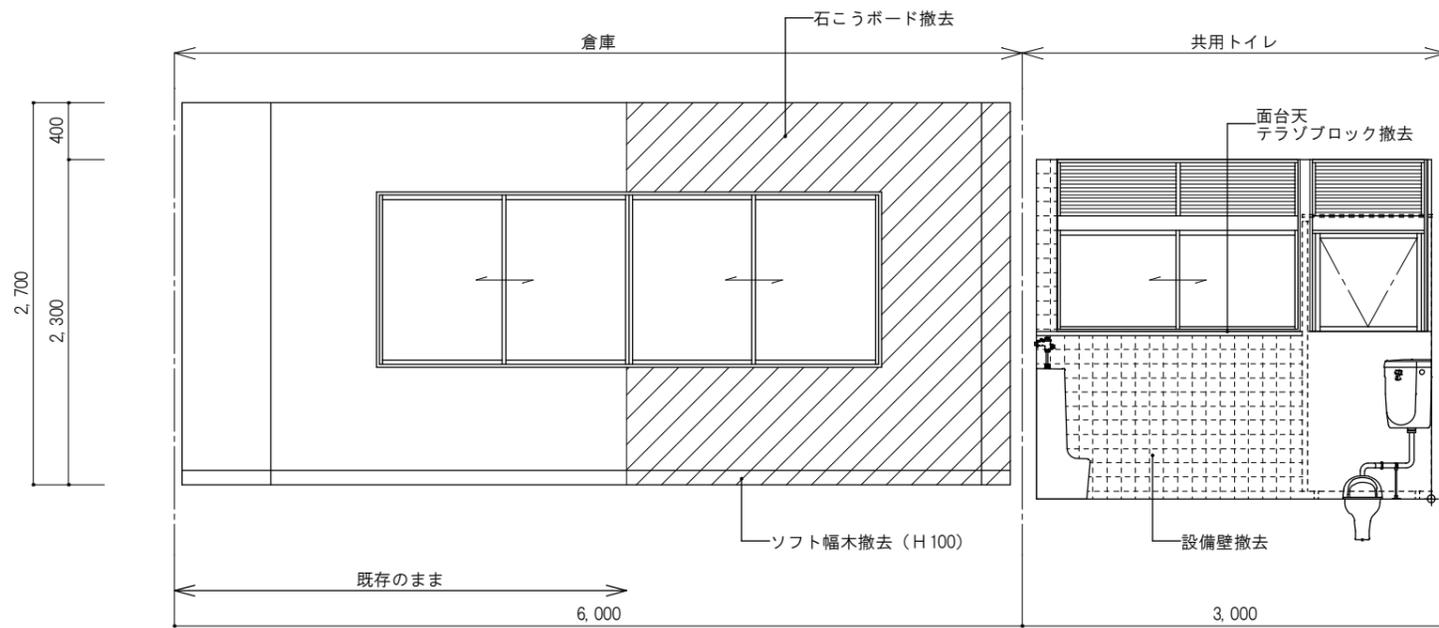
工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 現況平面図	
縮尺	図面No. 4
作成者	作成 訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号 氏名	伊賀市 建設部建築住宅課



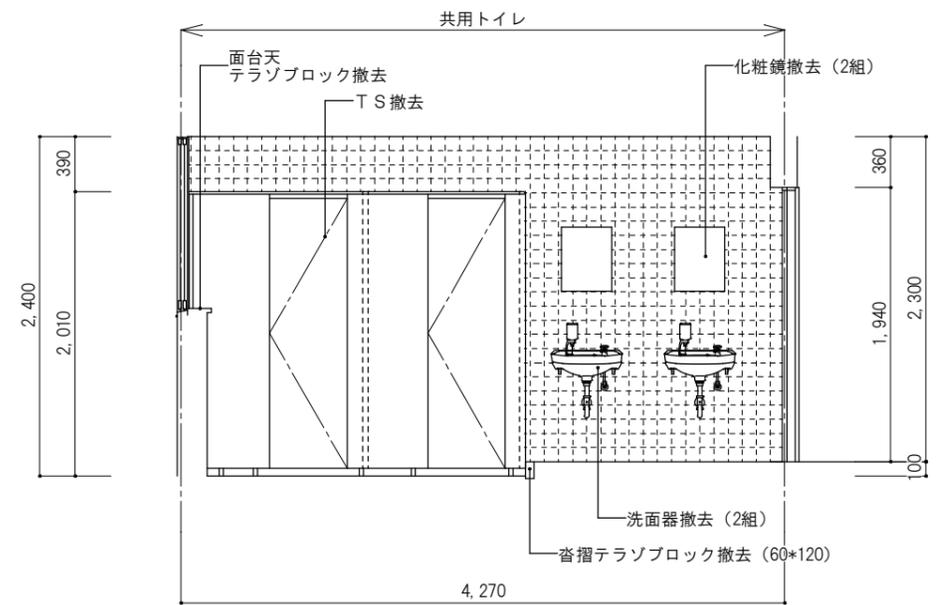
②

下地	仕上	GW充填	下地	仕上	GW充填
RC・CB (既存)	(-) シーリング石こうボード (厚12.5) GL工法+メラミン不燃化粧板 (厚3.0)	○	LGS (STD65)	(片面) シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0) (片面) ケイ酸カルシウム板 (厚10.0) +EP塗装	○
LGS (STD65)	(片面) 石こうボード (厚12.5) +シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0) (片面) 石こうボード (厚12.5*2重) +ビニルクロス	○	LGS (STD65)	(片面) 石こうボード (厚12.5*2重) +EP塗装 (片面) 石こうボード (厚12.5*2重) +ビニルクロス	
LGS (STD65)	(両面) シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0)	○	○	コーナー用塩ビアングル (15mm) 窓 サインプレート アルミニウム 平付タイプ H80*W250 出隅用アルミジョイナー サインプレート アルミニウム 平付タイプ H205*W208	

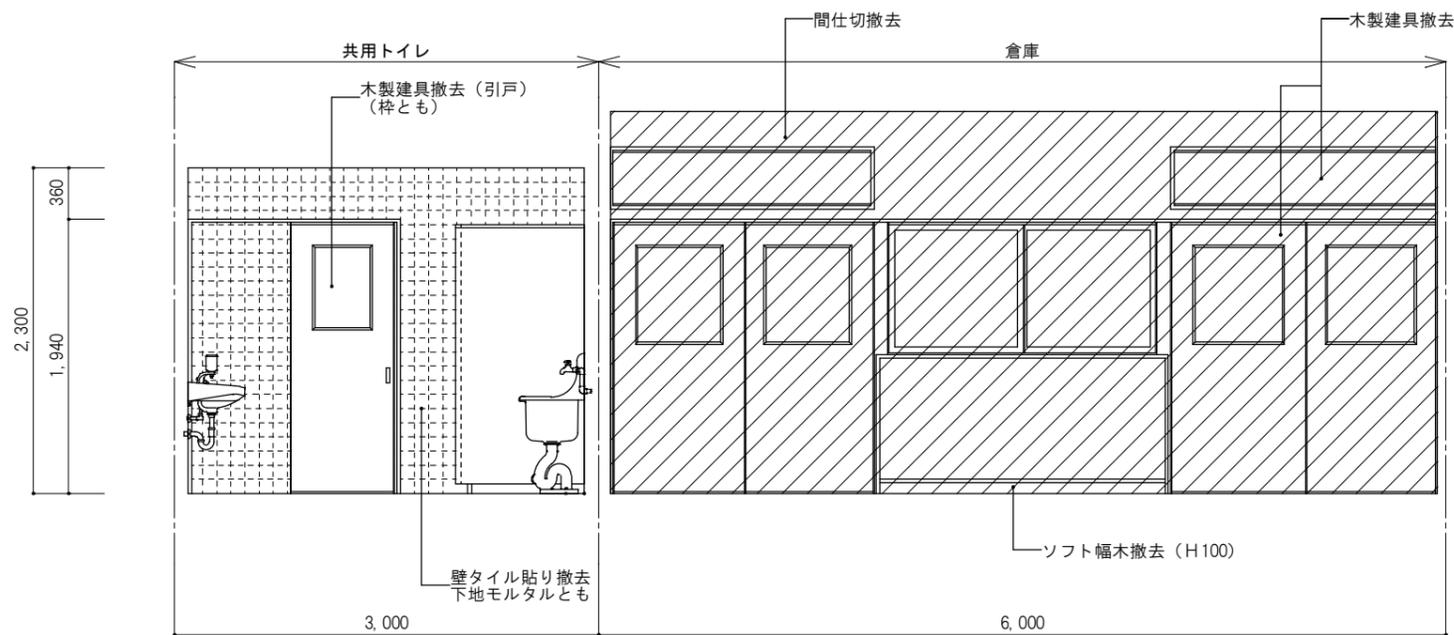
工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事
 図面名 改修後平面詳細図
 縮尺 図面No. 6
 作成者 作成
 訂正
 資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号
 氏名 伊賀市 建設部建築住宅課



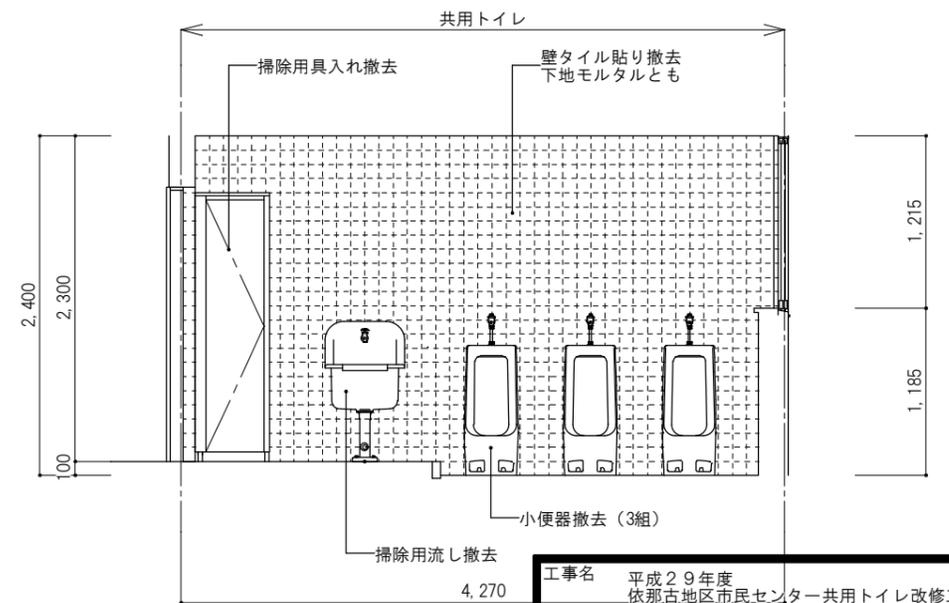
展開図 A



展開図 B

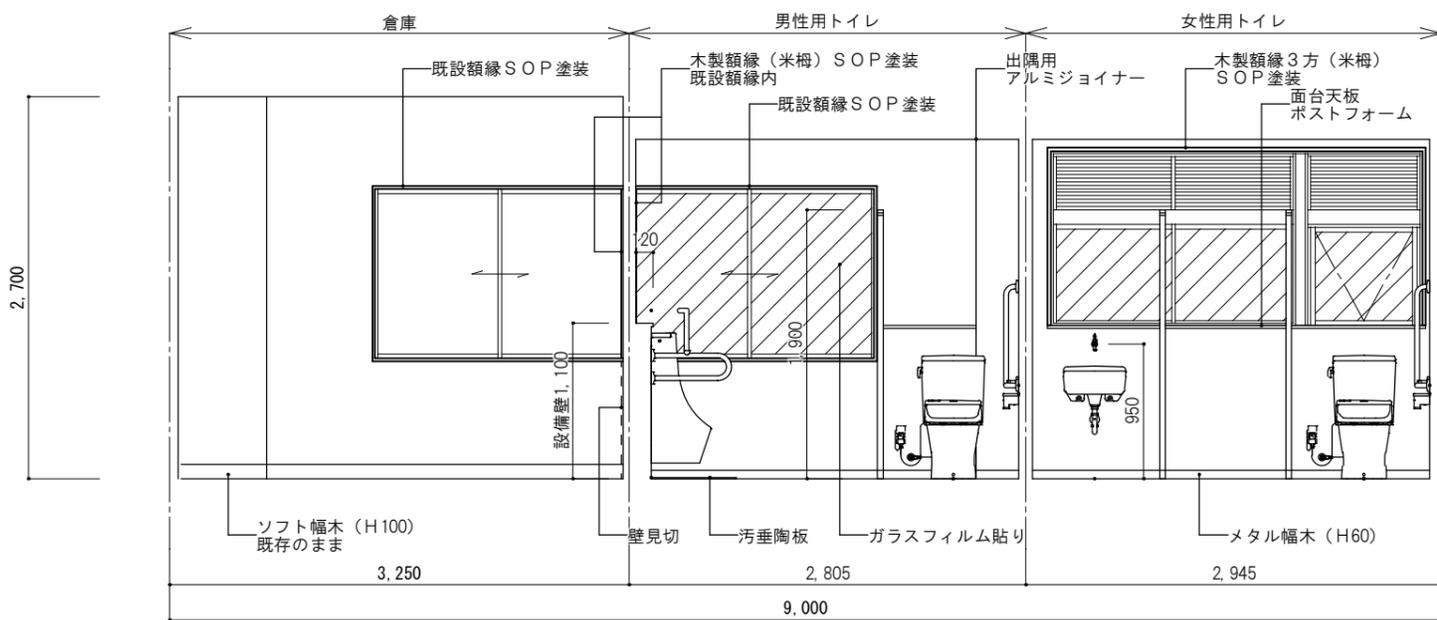


展開図 C

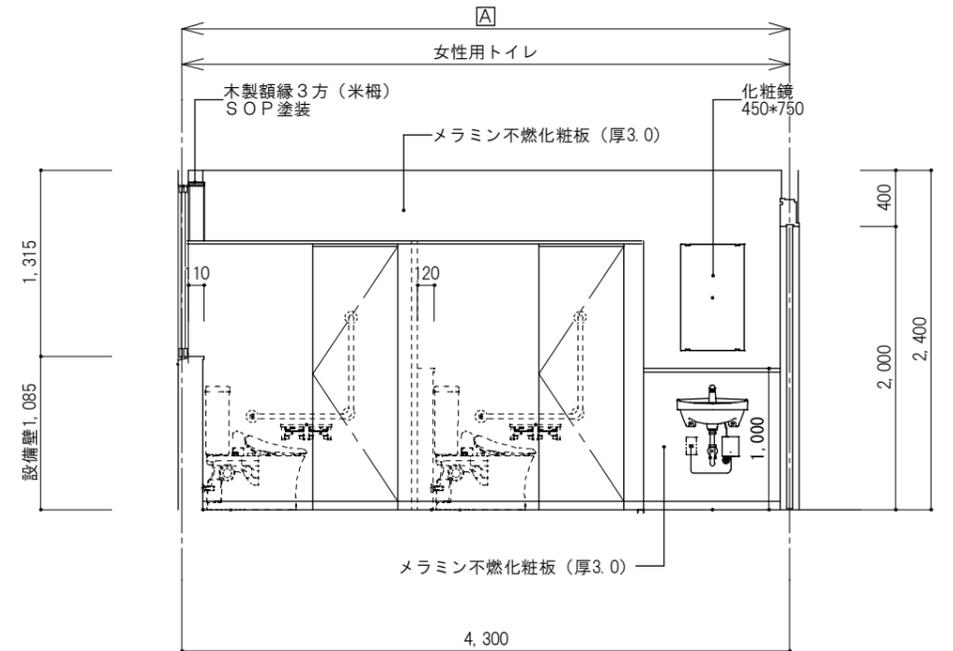


展開図 D

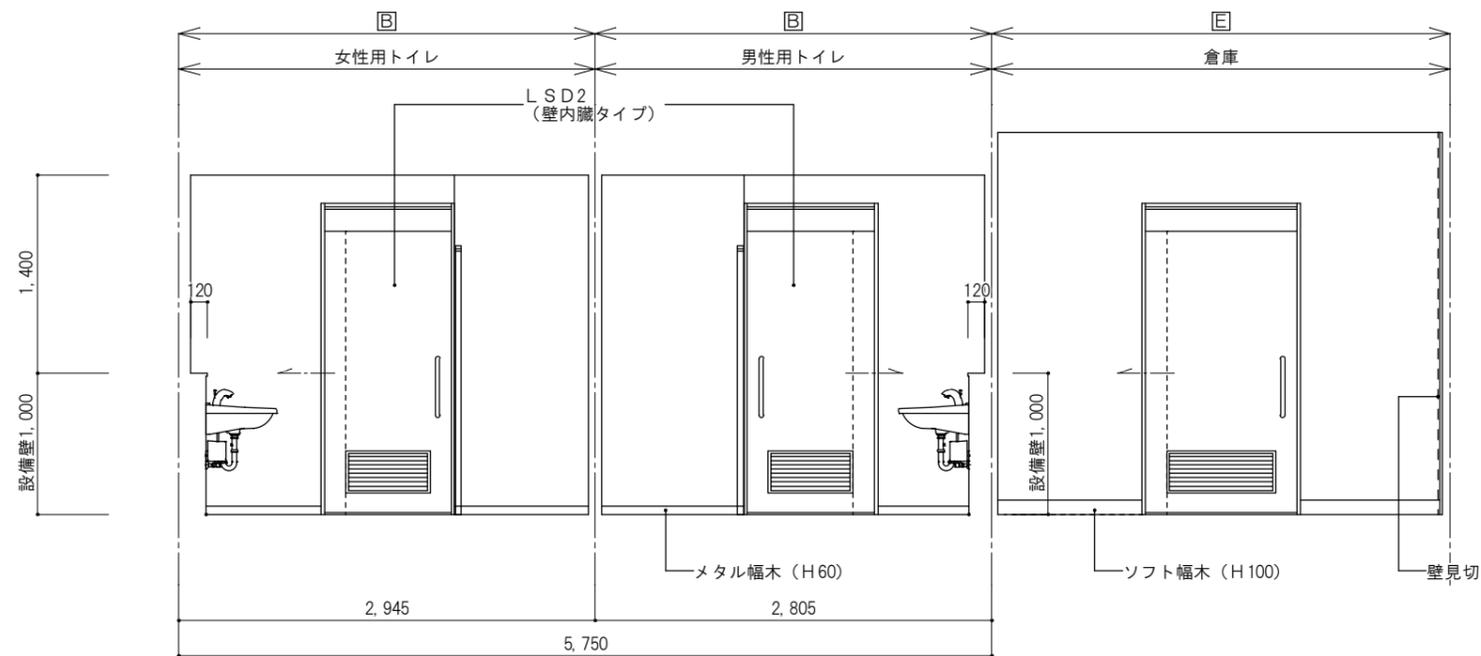
工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 現況展開図 i	
縮尺	図面No. 7
作成者	作成 訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号 氏名	伊賀市 建設部建築住宅課



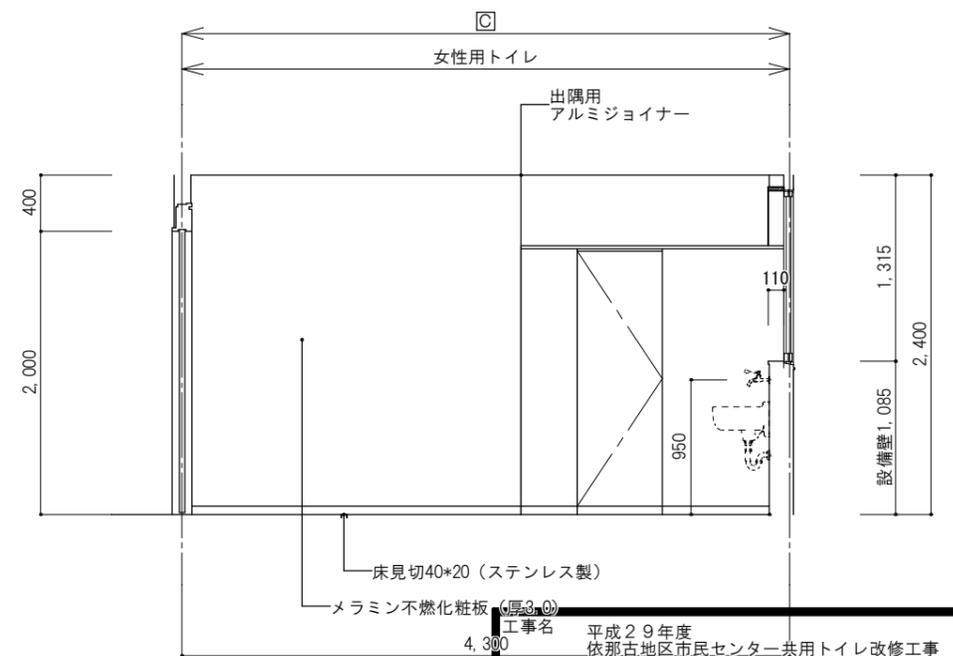
展開図 A



展開図 B

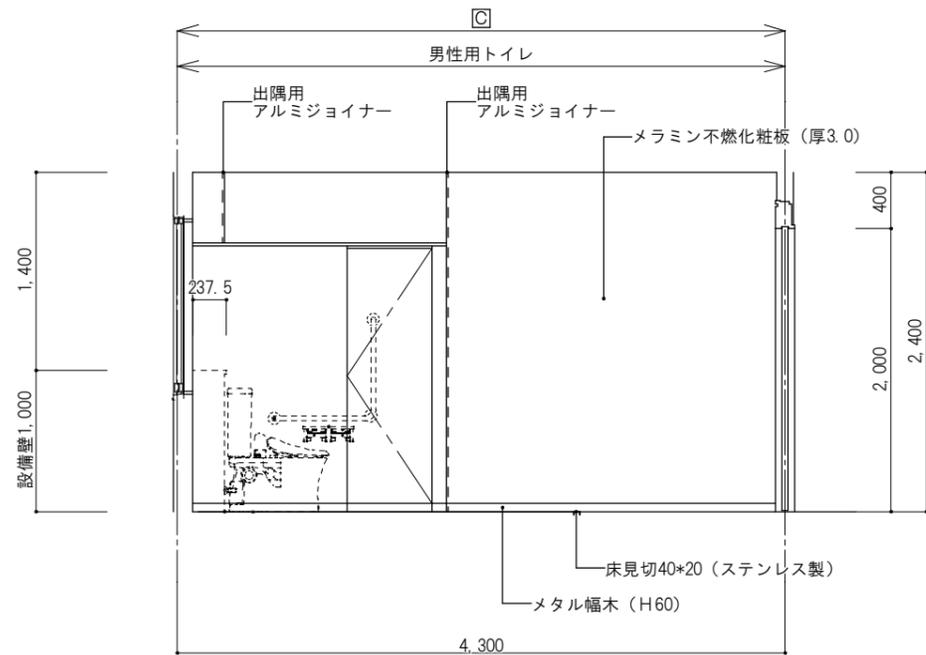


展開図 C

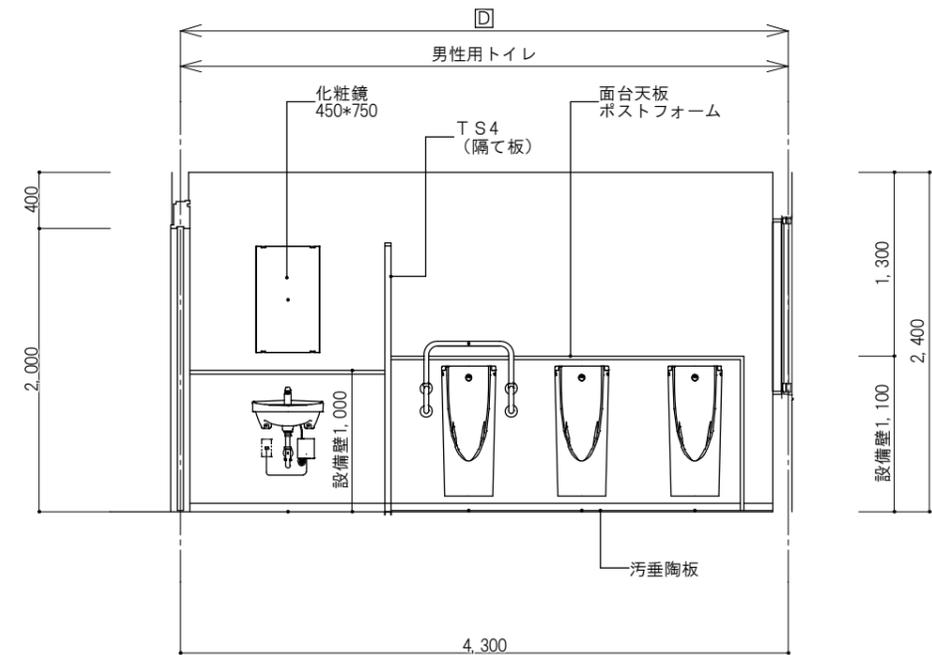


展開図 D

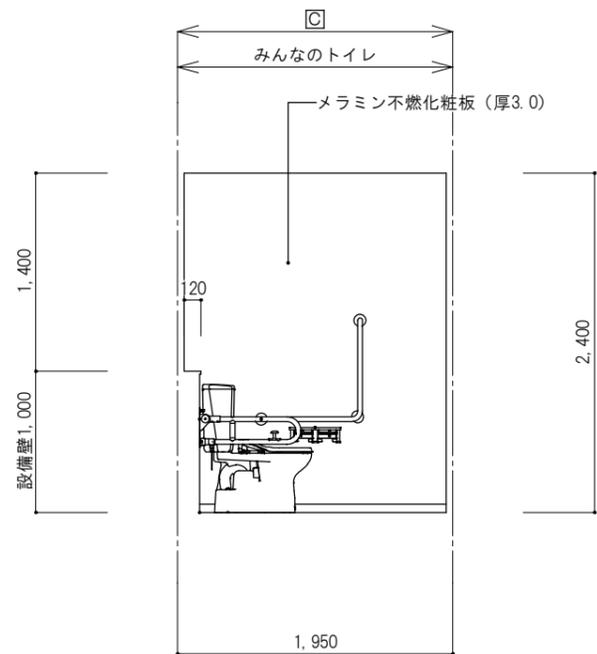
工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名	改修後展開図 i
縮尺	図面No. 8
作成者	作成
	訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号 氏名	伊賀市 建設部建築住宅課



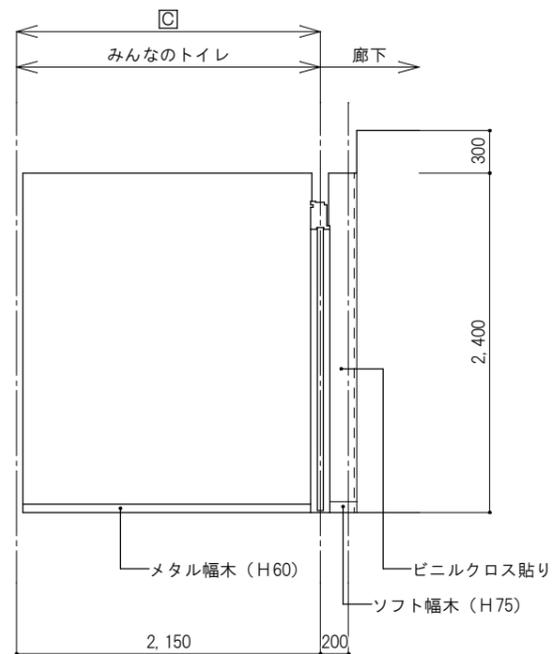
展開図 A



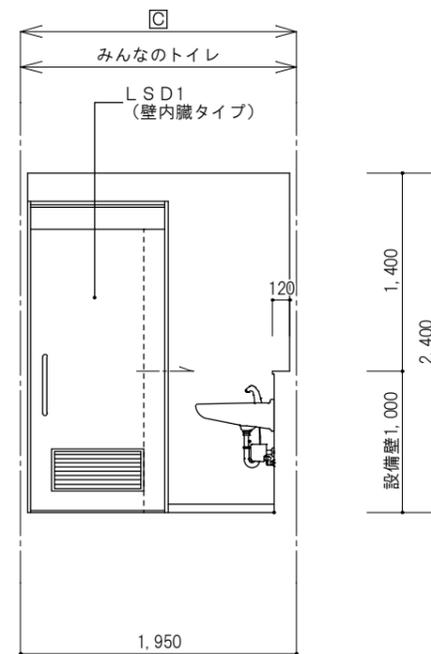
展開図 B



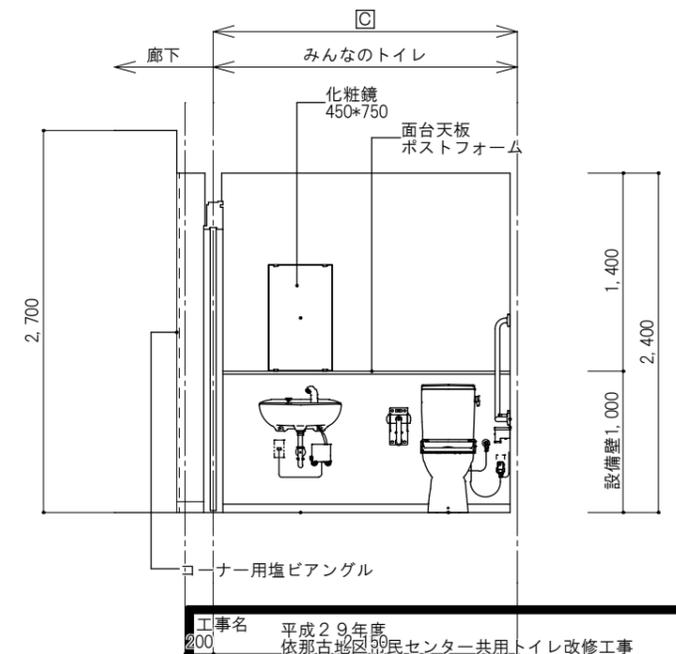
展開図 A



展開図 B



展開図 C



工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事

図面名 改修後展開図 ii

縮尺

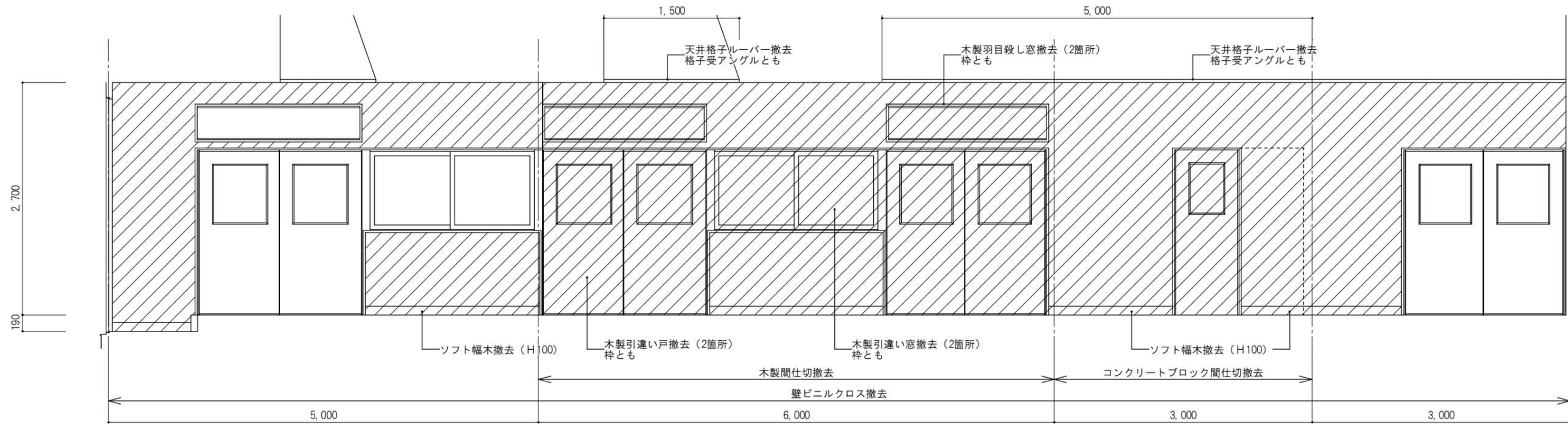
図面No. 9

作成者 展開図 D

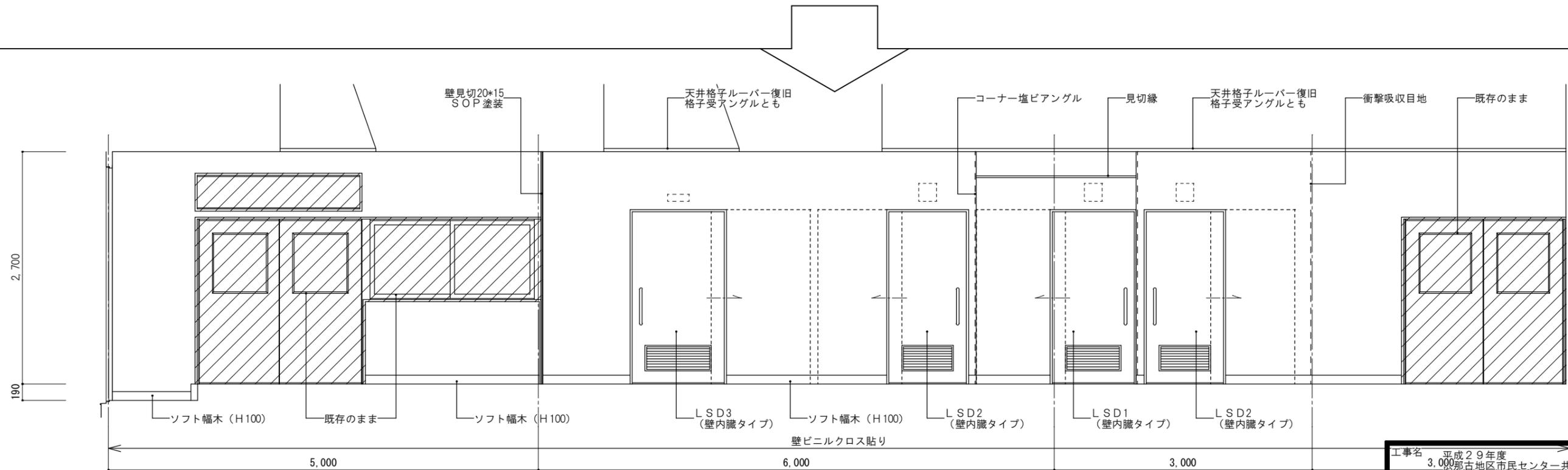
作成
訂正

資格名・登録番号及び氏名
級建築士 第 号
氏名

伊賀市
建設部建築住宅課



展開図 A



展開図 A

工事名 平成29年度 3,000 那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 改修後展開図 iii	
縮尺	図面No. 10
作成者	作成 訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号 氏名	伊賀市 建設部建築住宅課

符号・数量	LSD 1	1 箇所	LSD 2	2 箇所
使用箇所・防火仕様	みんなのトイレ	—	男性用トイレ・女性用トイレ	—
姿 図				

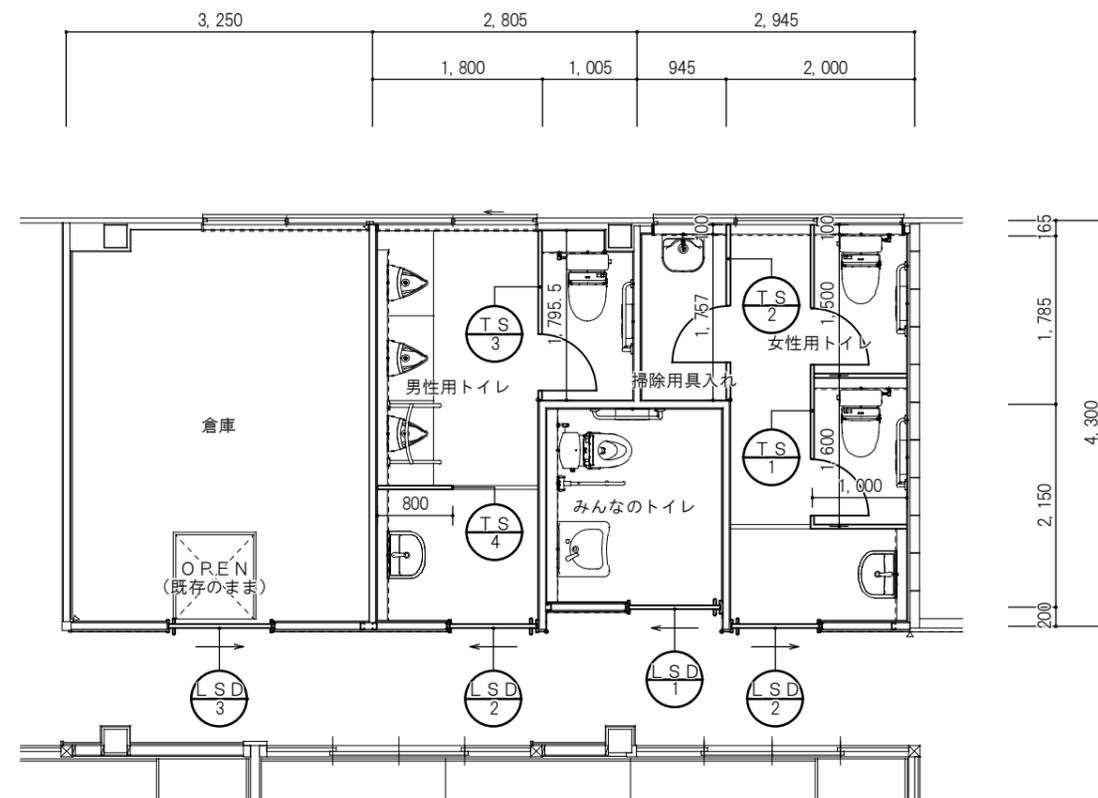
型式・防音・エアタイト仕様	軽量鋼製片引き自閉式ハンガードア（壁内蔵タイプ）	軽量鋼製片引き自閉式ハンガードア（壁内蔵タイプ）
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	40	40
材質・仕様	枠・扉：亜鉛めっき鋼板（扉芯材：ペーパーコア）	枠・扉：亜鉛めっき鋼板（扉芯材：ペーパーコア）
仕 上	枠・扉：焼付塗装	枠・扉：焼付塗装
ガラス・種類・ガラス押え	—	—
建 具 金 物 （付 属 金 物）	レバーハンドル・点検カバー・エアクッション アルミレール・吊車・全開固定装置・ドアガイド	レバーハンドル・点検カバー・エアクッション アルミレール・吊車・全開固定装置・ドアガイド
備 考	参考：小松ウォール カームドア	参考：小松ウォール カームドア

符号・数量	LSD 3	1 箇所	○	箇所
使用箇所・防火仕様	倉庫	—		
姿 図				

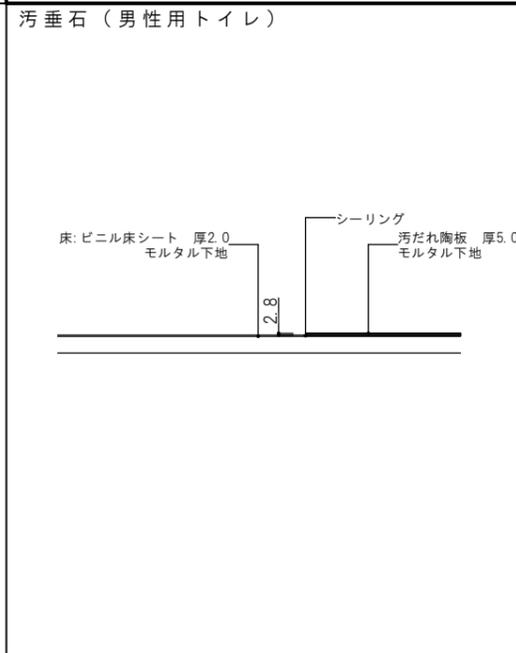
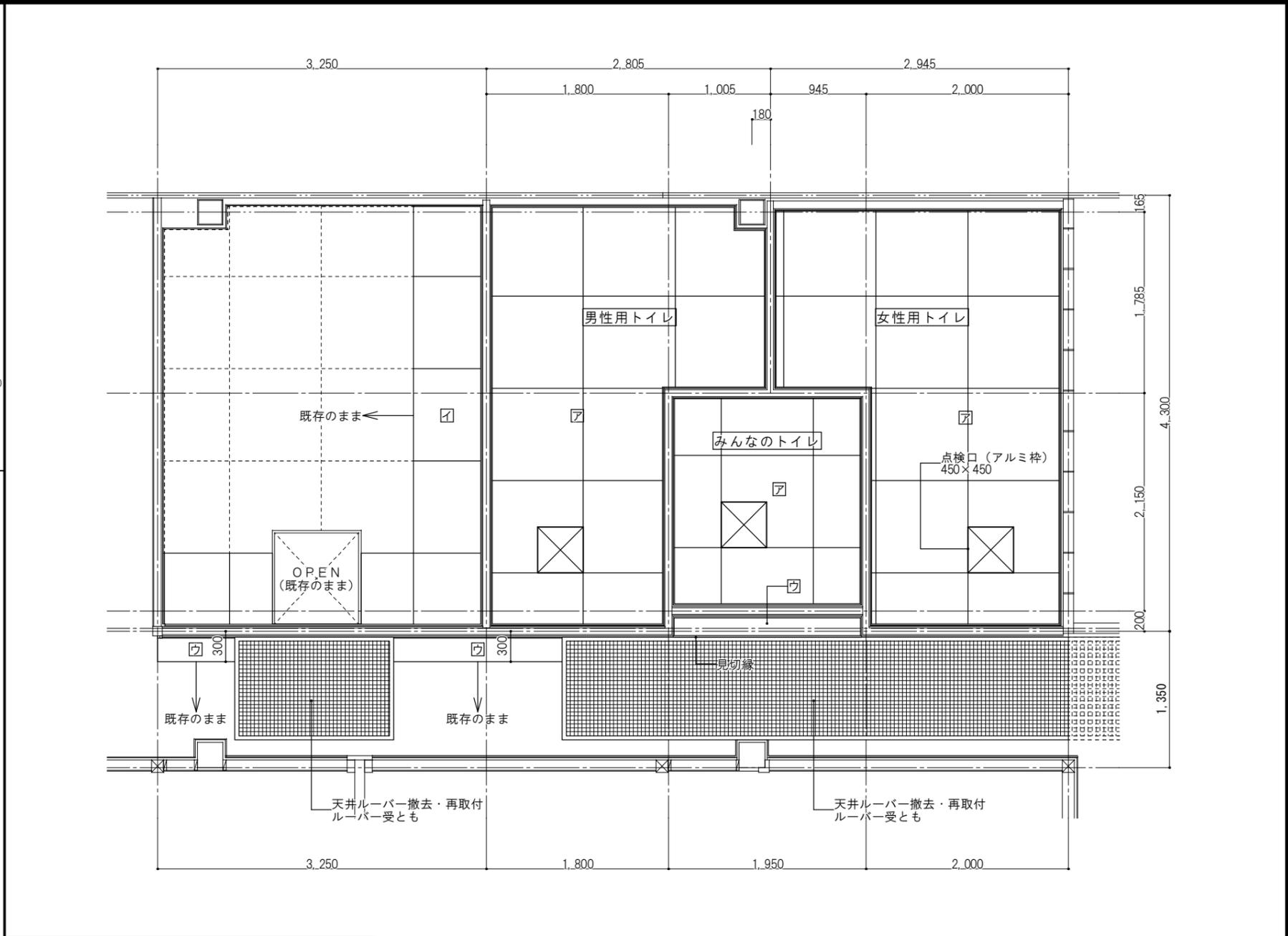
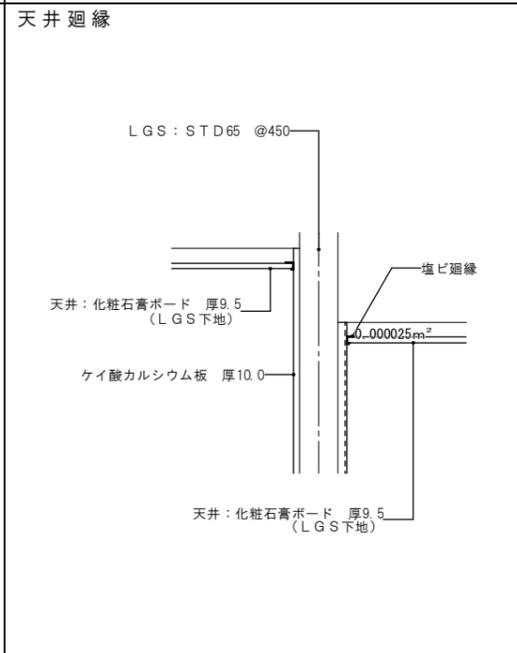
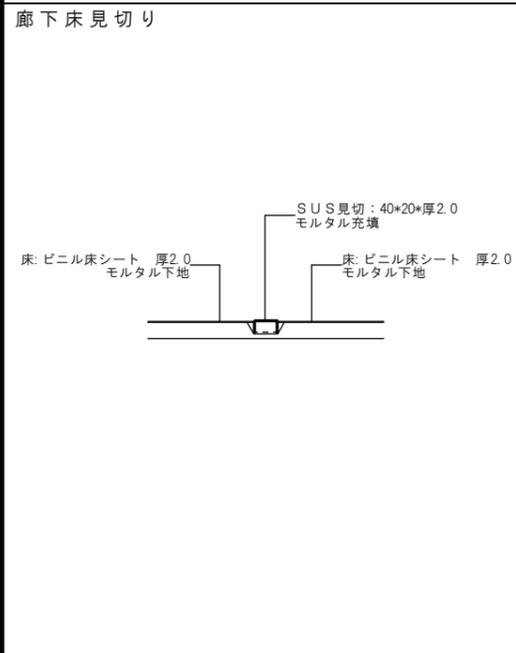
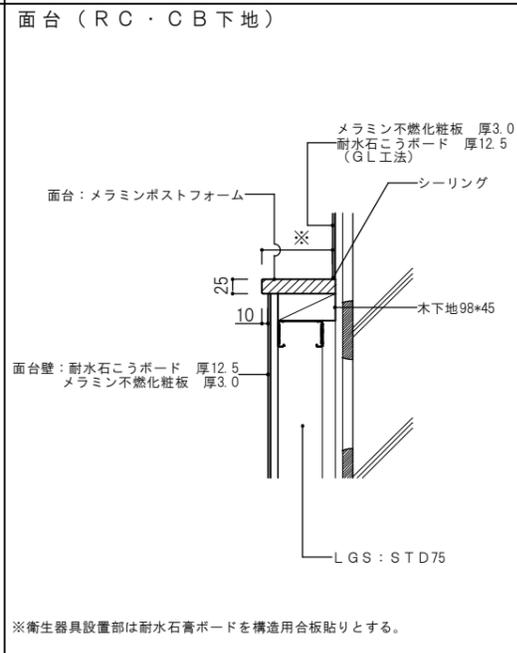
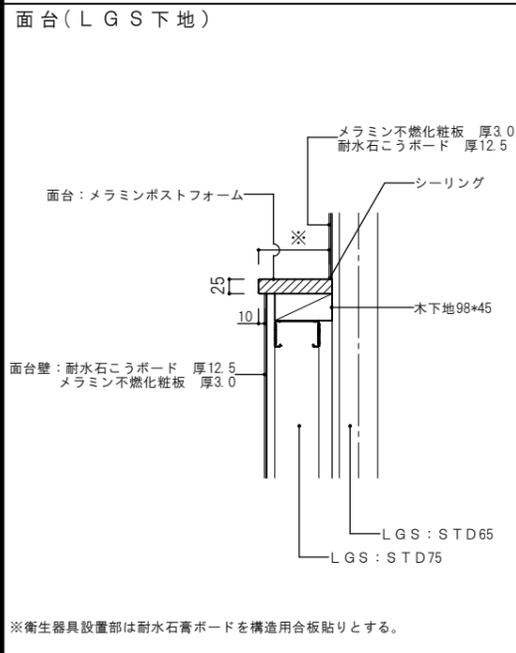
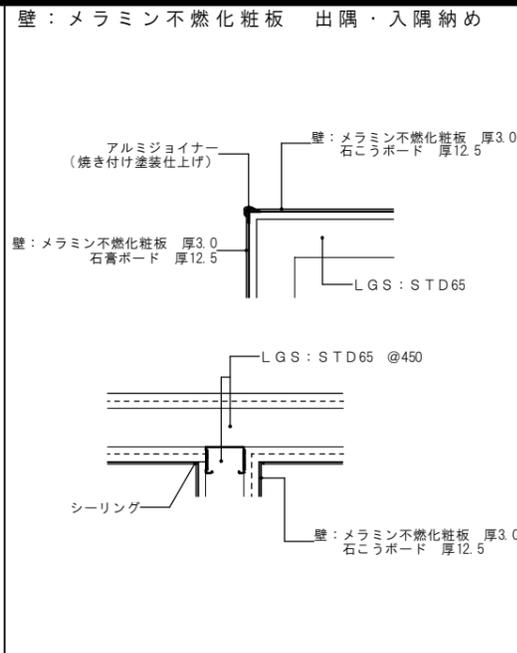
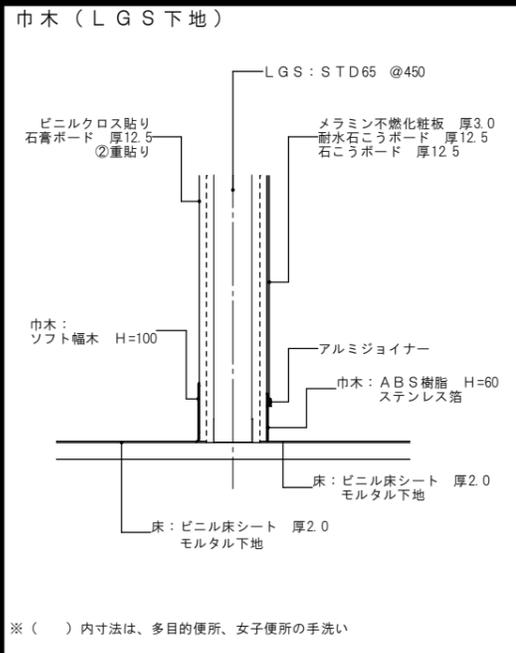
型式・防音・エアタイト仕様	軽量鋼製片引き自閉式ハンガードア（壁内蔵タイプ）	
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	40	
材質・仕様	枠・扉：亜鉛めっき鋼板（扉芯材：ペーパーコア）	
仕 上	枠・扉：焼付塗装	
ガラス・種類・ガラス押え	—	
建 具 金 物 （付 属 金 物）	レバーハンドル・点検カバー・エアクッション アルミレール・吊車・全開固定装置・ドアガイド	
備 考	参考：小松ウォール カームドア	

符号・数量	TS 1	1 箇所	TS 2	1 箇所	TS 3	1 箇所	TS 4	1 箇所
使用箇所・防火仕様	女性用トイレ	*	掃除用具入れ（女性用トイレ）	*	男性用トイレ	*	男性用トイレ	*
姿 図								

型式・防音・エアタイト仕様	トイレスクリーン	トイレスクリーン	トイレスクリーン	トイレスクリーン（隔て板）
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	40mm	40mm	40mm	40mm
材質・仕様	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製
仕 上	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製
ガラス・種類・ガラス押え	—	—	—	—
建 具 金 物 （付 属 金 物）	表示付スライドロック・笠木・アジャスター 床レール・壁面レール・戸当り	表示付スライドロック・笠木・アジャスター 床レール・壁面レール・戸当り	表示付スライドロック・笠木・アジャスター 床レール・壁面レール・戸当り	笠木・アジャスター・床レール・壁面レール
備 考	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）



工事名	平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名	建具表・建具図	
縮尺	図面No.	11
作成者	作成	訂正
資格名・登録番号及び氏名	級建築士 第 号	
氏名	伊賀市 建設部 建築住宅課	



天井伏図

- ㊦ 化粧石膏ボード (厚9.5mm)
- ㊧ 石膏ボード (厚9.5mm) + EP塗装
- ㊨ 石膏ボード (厚9.5mm) + ビニルクロス
- ㊩ 塩ビ廻り縁 (突付)

工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 天井伏図・部分詳細図	
縮尺	図面No. 12
作成者	作成
	訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号	伊賀市 建設部建築住宅課
氏名	

電気設備工事特記仕様書

I 工事名称 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事
 II 工事場所 伊賀市 沖 地内

建物名称	構造	延面積 (㎡)	消遣令の適用	備考
依那古地区市民センター	S造 地上1階建て	299.95 ㎡		

項 目	特 記 事 項
1. 施行基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> *国土交通省大臣官房官庁官庁部監修「公共建築工事標準仕様書 最新版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) *「公共建築設備工事標準仕様書 最新版」(電気設備工事編・機械設備工事編) *「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」(電気設備工事編・機械設備工事編) *「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」 最新版 *国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 *電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) *電力会社供給約款 *消防関連法規(条例・所轄省指導要領を含む) *電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 *その他関連法規、関連諸基準
2. 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
・施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合せを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> *総合施工計画書 *詳細施工図(施工図リストを含む) <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
・工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> *使用機材届出書(メーカーリスト) *機器明細図 *カタログ・製作図・その他諸資料 <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見様メーカー(参考)及び国土交通省大臣官庁官庁部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
・工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p>
・工事写真	<p>国土交通大臣官房官庁官庁部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)ー建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおO/Dの提出部数は「電子納品」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> *代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、撤出状況等)を抽出しL判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ) 1部
・完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒紙無しにて撮影し、L判相当サイズで印刷する。(A4版用紙に3枚/ページ) 1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
・完成書類	<p>工事が完了した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> *工事完成報告書、工事的物引渡書、完成写真 *製本図面(竣工図)：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 <p>竣工図は、原図サイズ及びA3縮小版を各2部・竣工図は、原図サイズ1部。</p> <p>白焼き(青焼き不可)で文字潰れのないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、工期、竣工図(又は施工図)、受注者名」を印字(シール不可)すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> *引渡目録、工事書類目録 *工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等) *工事書類(打合記録、工事材料搬入報告) *完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板等) *官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等) *その他監督員の指示する書類 <p>ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる権利は発注者に移譲するものとする。</p>
・完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>
・施工条件	<p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p>
・事故の発生時	<p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
・発生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの()</p> <p>上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他()</p> <p>処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ保管</p> <p>なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を見つけた場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、E票の写を監督員に提出する)</p>
・残土処分	<p>口構内敷きならし □構外搬出(片道運搬距離 約 km)</p>
・電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
・諸手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気安全管理者等への諸手続は、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
・消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用差及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p>

項 目	特 記 事 項
・既設との取合い	<p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p>
・既設設備の調査	<p>既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前に検検抵抗測定を行っておくこと。</p>
・工事中の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
・不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第2条第1項第1項第10号)を受けた場合の措置については</p> <p>(1) 受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第2条第1項第1項第8号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
3. 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8年版」(建設大臣官房長官官庁官庁部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 局所震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)</p> <p>(2) 地域係数は1.0とする。</p> <p>(3) 自重が100kg以下の比較的軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。</p> <p>(4) 配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。</p> <p>(5) 機器の耐震計算書を提出すること。</p> <p>重量1kn(100kg)以上のアンカー取付機器</p> <p>※釜類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水櫃類、その他監督員が指示するもの。</p>
4. 施工	<p>(1) 塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定色で2回塗りとする。 ・金属管、2種金属線び、吊りボルト、支持具等鋼板製(SUS、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く)は原則として塗装を施すこと。 <p>(2) 行先表示等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 <p>(3) セパレータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 <p>(4) 保護キャップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ(おおよそ2m以下)にある場合は保護キャップを取り付けること。 <p>(5) 地中埋設配管及び埋設表示杭・シート</p> <p>(6) 防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。</p>
5. その他	<p>(1) 使用機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 <p>(2) 測定機器の校正記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 <p>(3) 設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。</p>

工事範囲	
◎ 電気設備	<p>電気方式 種別 ◎ 三相3線式(200/100V) ◎ 単相2線式 ◎ 100V ◎ 200V ○ () V</p> <p>工事範囲 ◎ 配管 ◎ 配線 ◎ 機器取付 ○ 動力機器の試運転調整 ○ 消防立ち合い試験 ○ 自火報知警報の取替、感知器撤去 ○ 電話受け口の改修 ○</p> <p>配線器具 ◎ 特別なものを除き大角型とする</p> <p>プレート ◎ 新金属 ○ ステンレス ○ フルカラー() ◎ ワイド</p> <p>照明器具 ◎ LED器具を優先とする。 ○ バイブ吊りの照明器具は撤止めを施工する。</p>
◎ トイレ呼出装置設備	<p>工事範囲 ◎ 配管 ◎ 配線 ◎ 機器取付</p> <p>種 別 ○ 住宅用 ○ 業務用 ○ 集合住宅 ○ ナースコール ◎ 身障者呼出装置</p> <p>通話方式 ○ 交互通話 ○ 親子式 ○ 同時通話</p> <p>附属機能 ◎ 電気錠解錠 ○ ガス漏れ警報 ○ 非常押印</p> <p>その他</p>

電気設備工事指定資材適用規格及びメーカーリスト

分類	資 機 材 名	適用 範囲	規 格 ・ メ ー カ ー 等
電線	電線、ケーブル類(エコ電線・ケーブルを優先使用)	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	● JIS規格適合品 ● JCS(日本電線工業会規格)規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	● 登録認定機関(社)建築総合技術センター)または指定認定機関(社)日本電線工業会(耐火・耐熱電線認定業務委員会)により認定または評定されたもの ● (社)日本電線工業会により自主認定(評定)されたもの
	圧着端子 採注者スリーブ	一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品
電線保護用類	金属管、VE、PF、HIVE、FEP、CD、合成樹脂製等可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品 ● JIS規格のない物にあつては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品 ● JIS規格のない物にあつては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具(省エネ型を優先使用)		● JIS規格適合品 ● (社)日本照明器具工業会標準(JIS規格)適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、実験盤		● JIS規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		● (社)日本配電制御システム工業会規格(JSIA)適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		● 登録認定機関(日本消防検定協会)の検定を受け、検定合格証票が貼付されたもの

注 ・「JIS規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示(製品・包装の外函、容器の外函、結束帯れごとの納品書に)JISマーク表示、またはJIS規格証明書等の添付)のあるものをいう。

・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁官庁部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(電気設備機材機械設備機材)」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。

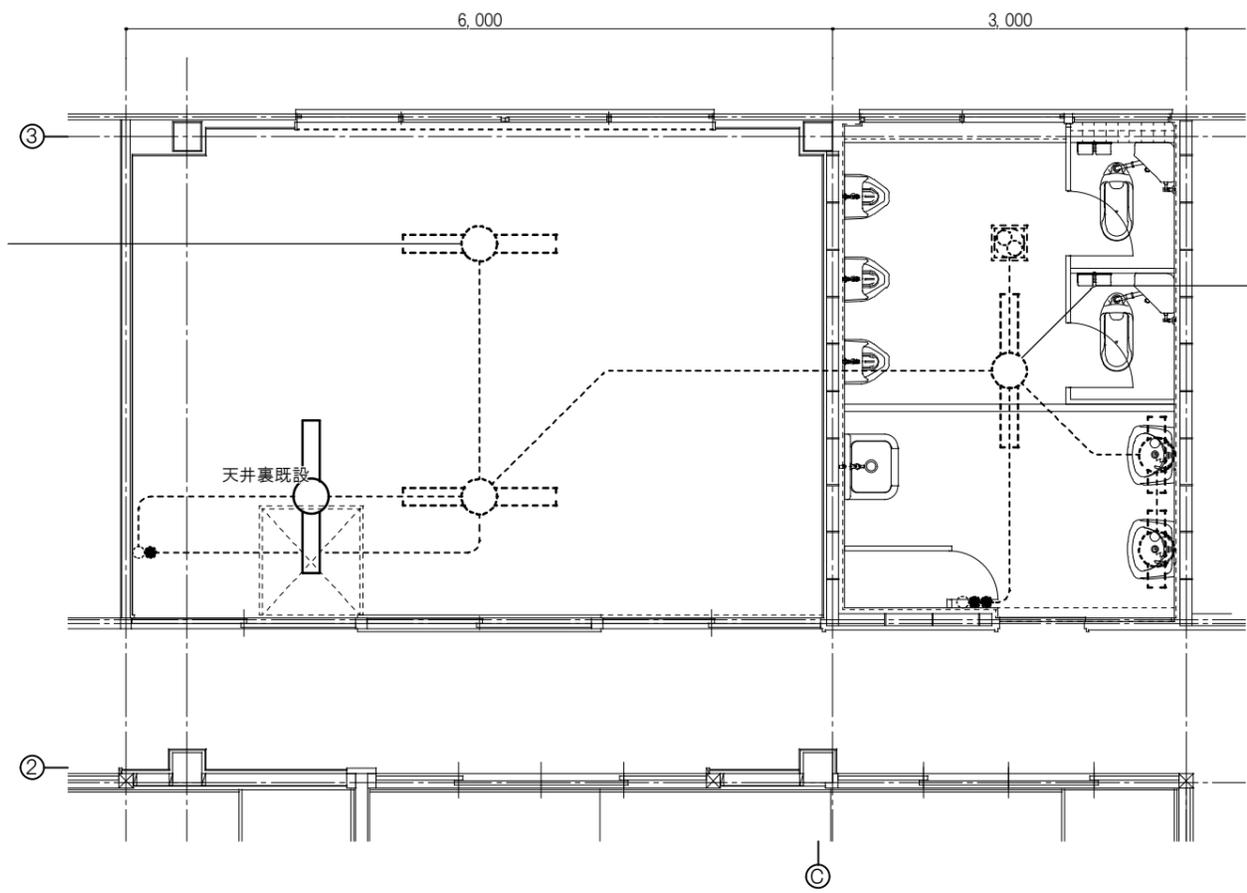
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承認が得られた場合のみ使用できるものとする。

・特許仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承認が得られた場合のみ使用できるものとする。

凡 例

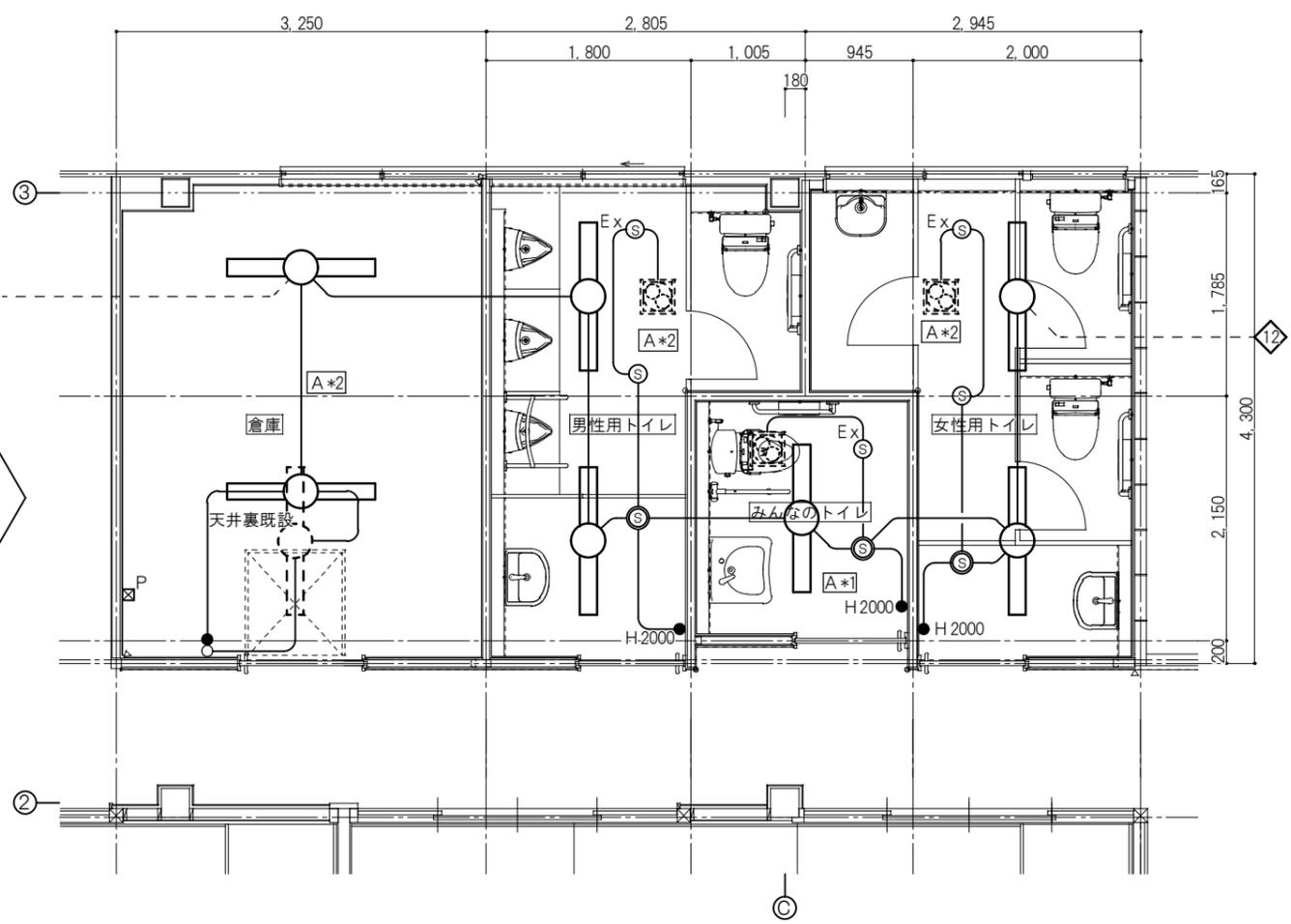
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
☉	電灯分電盤		● ～ ●●●	スイッチ 1P15A x1～6	ワイドプレート
☉	動力分電盤		● ●、● ●	3W15A、4W15A	〃
☉	接地極		◎、◎2	コンセント 2P15A x1、2P15A x2	〃
☉	手元開閉器		◎2E	2P15A、Ex2+E、T	〃
☉	照明器具 天井取付	器具姿図参照	◎	テレビ受け口(75Ω)	新金属プレート
☉	〃 壁付	〃	○	インターホン	〃
☉	天井換気扇、壁付換気扇(設備工事)		☐	W呼出表示盤(1部)	別図参照
			☐	トイレ呼び出し机	〃
			◎	廊下灯	〃
			◎	復旧部	〃

工事名	平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事		
図面名	改修工事特記仕様書(電気)		
縮尺	図面No.	13	
作成者	作成		
	訂正		
資格名・登録番号及び氏名	級建築士 第 号		
氏名	伊賀市 建設部建築住宅課		



凡例

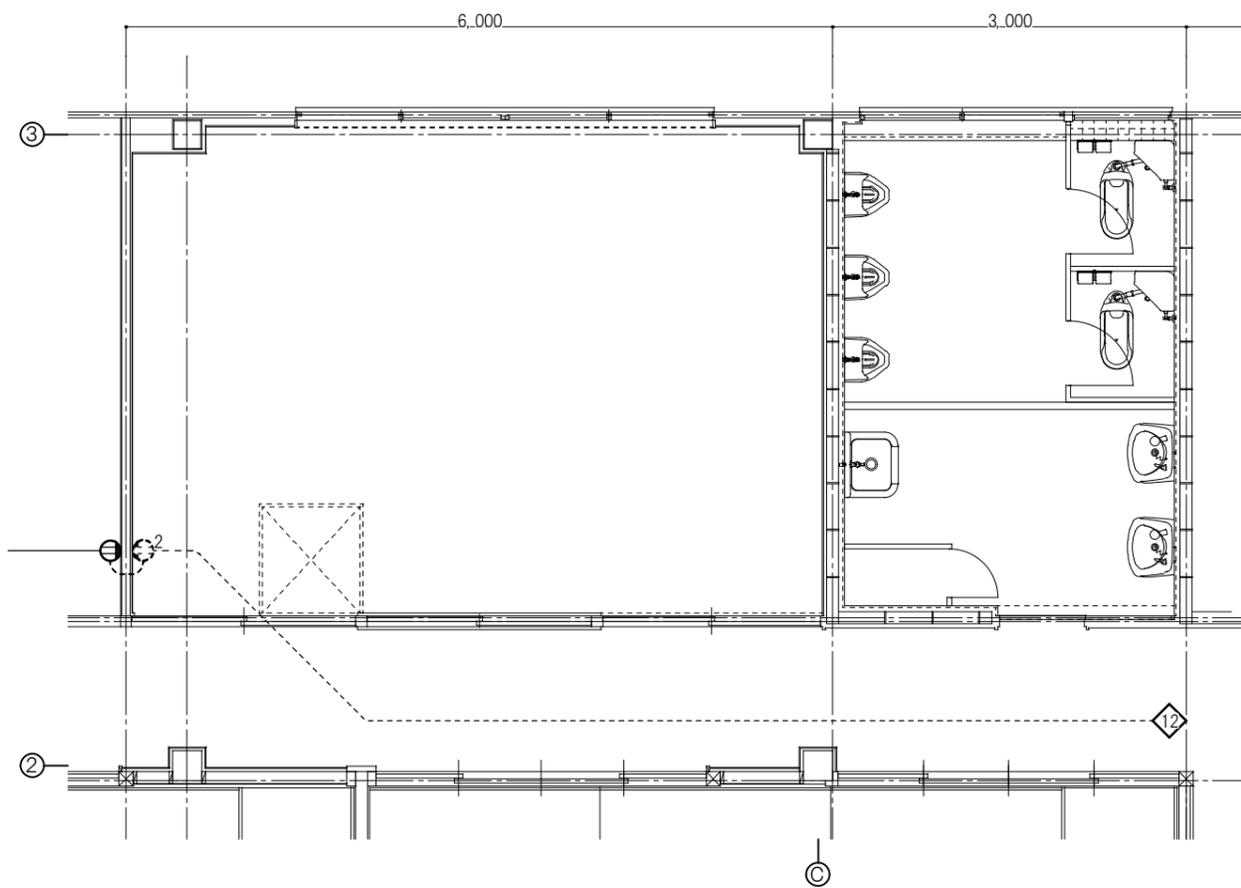
- 既設機器及びケーブル撤去を示す
- 既設ケーブル切断位置を示す



凡例

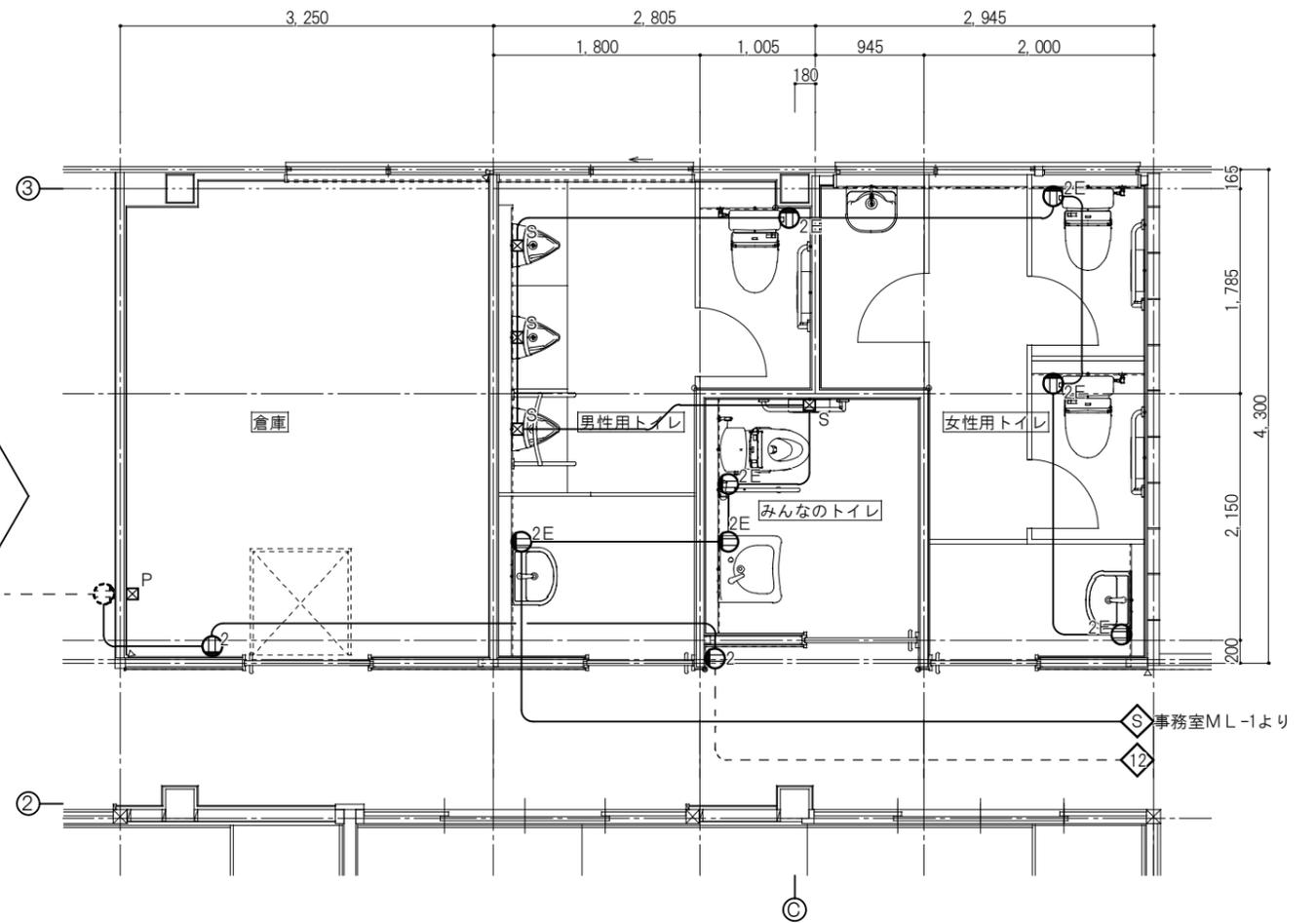
- 既設機器及びケーブルを示す
- 既設ケーブル接続位置を示す
- ☒P ブランクプレート取付
- ⊙ 熱線センサー付自動スイッチ 親器
- ⊙ 熱線センサー付自動スイッチ 子器
- Ex⊙ 熱線センサー付自動スイッチ 子器 (換気扇連動形)
- A LED照明器具 LSS9-3200LM

工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 電灯設備図	
縮尺	図面No. 14
作成者	作成
	訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号	
氏名	伊賀市 建設部建築住宅課



凡例

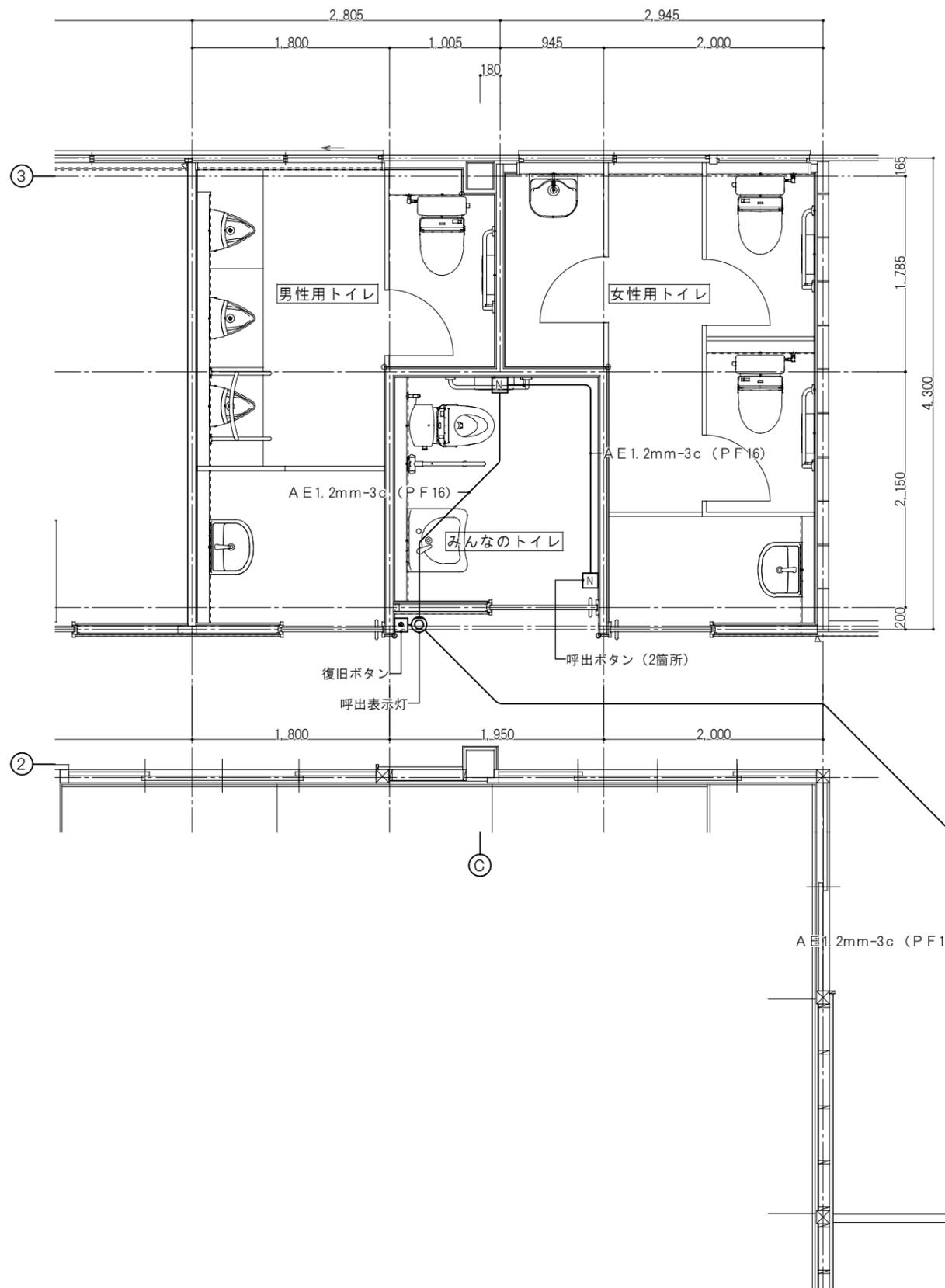
- 既設機器及びケーブル撤去を示す
- 既設ケーブル切断位置を示す



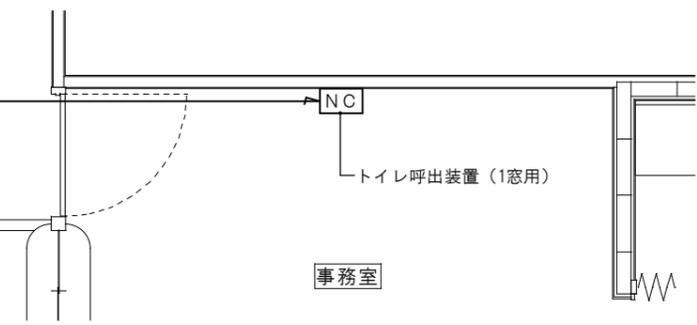
凡例

- 既設機器及びケーブルを示す
- 既設ケーブル接続位置を示す
- P ブラックプレート取付
- S■— スイッチボックス 1個用 1方出

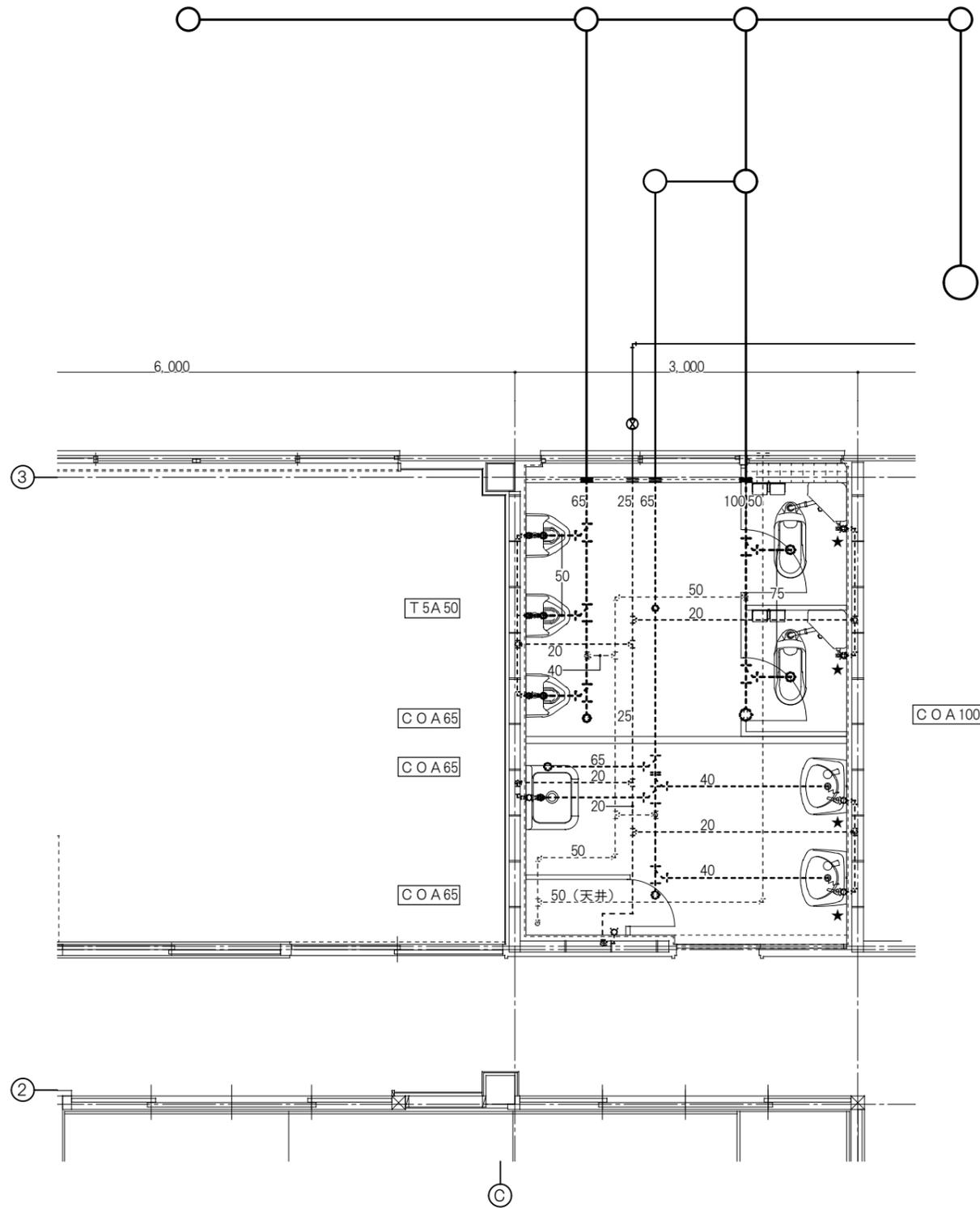
工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 コンセント設備図	
縮尺	図面No. 15
作成者	作成 訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号 氏名	伊賀市 建設部建築住宅課



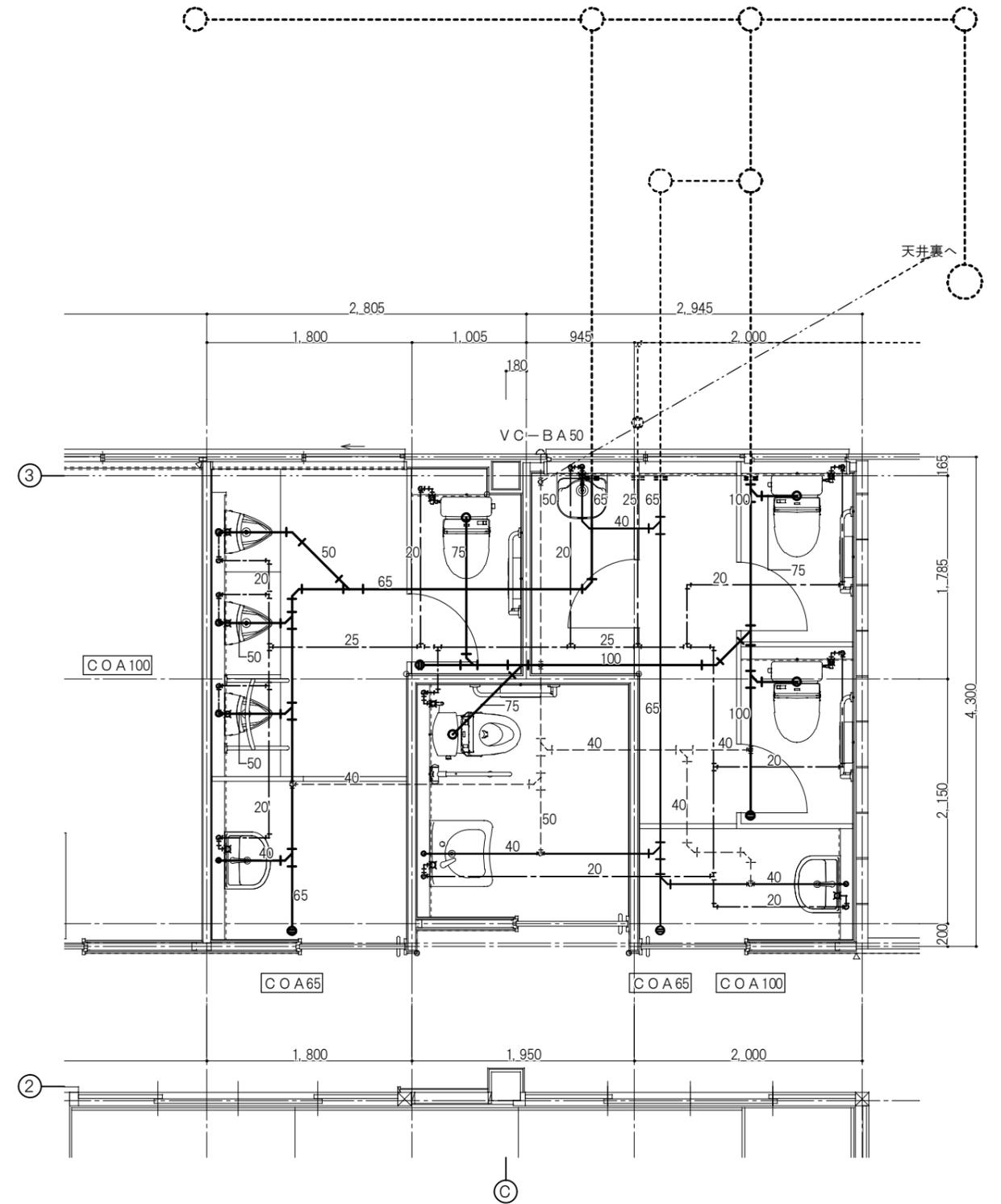
[NC]	トイレ呼出装置 (1窓用)	[N]	呼出ボタン (引きひも付)																
<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁取付形</td></tr> <tr><td>材質</td><td>SPOC t1.2</td></tr> <tr><td>窓数</td><td>1窓</td></tr> <tr><td>表示方式</td><td>呼出音と表示窓点灯</td></tr> </table> <p>アイホン CBN-1C 相当品</p>		電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)	形状	壁取付形	材質	SPOC t1.2	窓数	1窓	表示方式	呼出音と表示窓点灯	<table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用</td></tr> </table> <p>アイホン NBR-7HWA 相当品</p>		形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考	引きひも式、押ボタン式両用
電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)																		
形状	壁取付形																		
材質	SPOC t1.2																		
窓数	1窓																		
表示方式	呼出音と表示窓点灯																		
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																		
材質	自己消火性樹脂																		
備考	引きひも式、押ボタン式両用																		
[●]	復旧ボタン	[◎]	呼出表示灯																
<table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>非防水形</td></tr> </table> <p>アイホン NBR-2A-C 相当品</p>		形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	樹脂	備考	非防水形	<table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>パネル: ABS樹脂、ランプカバー: ポリカーボネート</td></tr> <tr><td>表示灯</td><td>赤色LED</td></tr> </table> <p>アイホン CBR-4 相当品</p>		形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	パネル: ABS樹脂、ランプカバー: ポリカーボネート	表示灯	赤色LED				
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																		
材質	樹脂																		
備考	非防水形																		
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																		
材質	パネル: ABS樹脂、ランプカバー: ポリカーボネート																		
表示灯	赤色LED																		



工事名	平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事		
図面名	誘導支援設備図		
縮尺	図面No.	16	
作成者	作成		
	訂正		
資格名・登録番号及び氏名	級建築士 第	号	伊賀市 建設部建築住宅課
氏名	氏名		

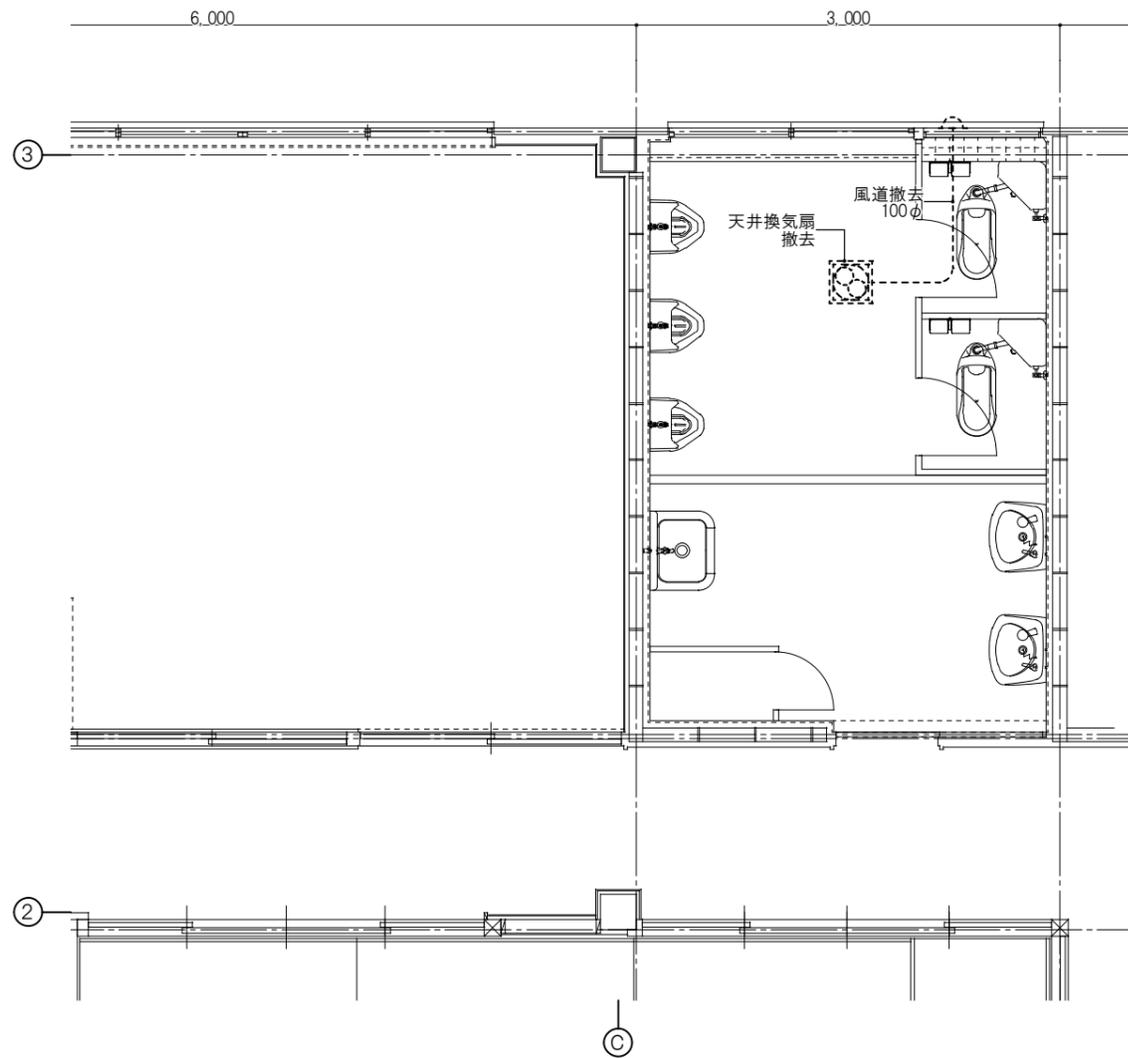


- 凡例
- 給水管 (撤去) HI 25A · 20A
 - 雑排水管 (撤去) VP 65A · 40A
 - 汚水管 (撤去) VP 100A · 75A · 65A · 50A
 - 通気管 (撤去) VP 50A · 40A
 - 既設管切断位置を示す
 - ★ 給水管は壁面にてプラグ止とする

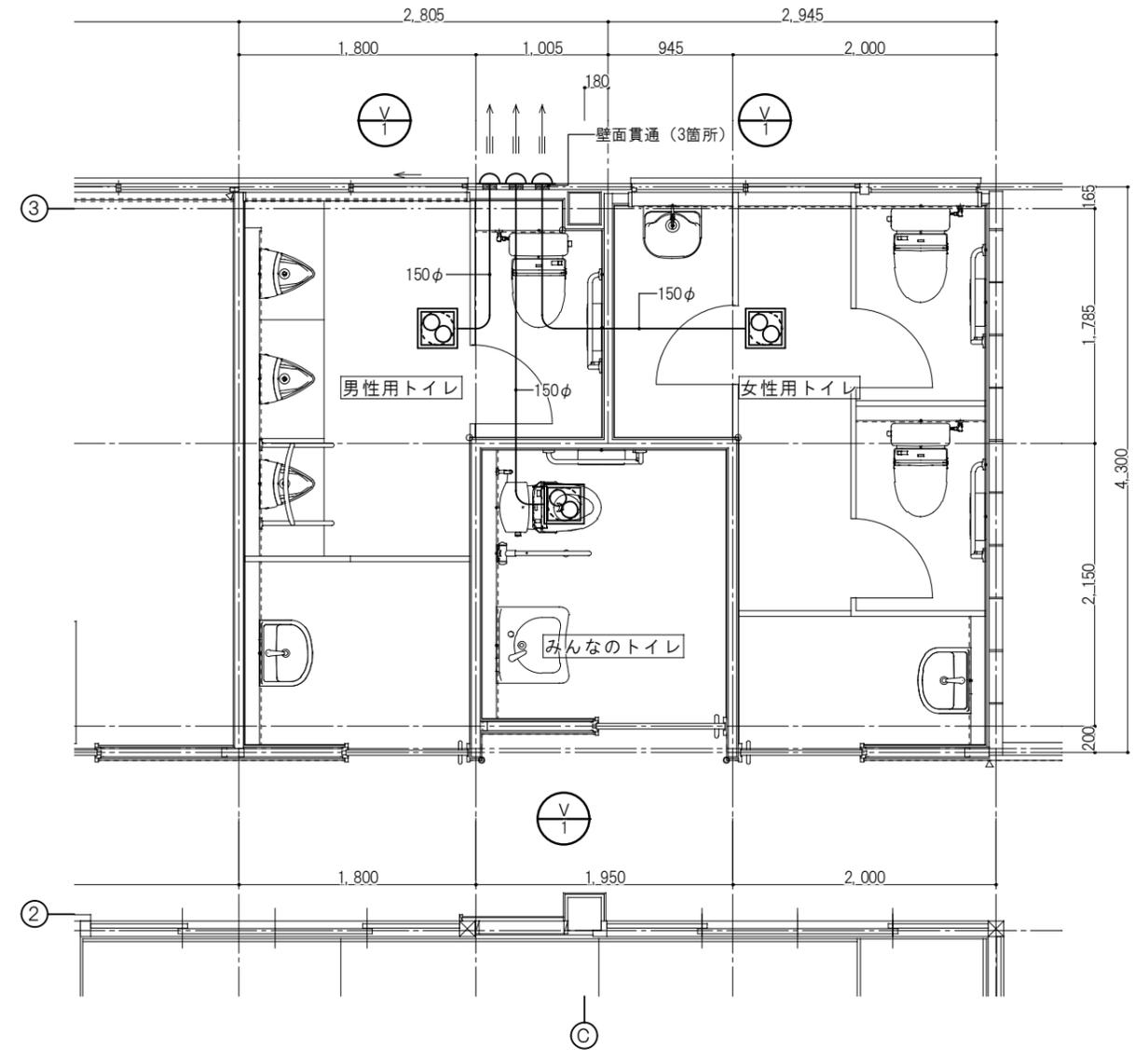
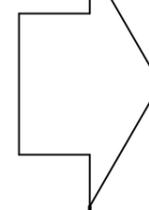


- 凡例
- 給水管 (既設存置)
 - 雑排水管 (既設存置)
 - 汚水管 (既設存置)
 - 既設管接続位置を示す

工事名 平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名 屋内給排水設備図	
縮尺	図面No. 19
作成者	作成
	訂正
資格名・登録番号及び氏名 級建築士 第 号	
氏名	伊賀市 建設部建築住宅課



※給湯室の換気設備については既存のままとする。



工事名		平成29年度 依那古地区市民センター共用トイレ改修工事	
図面名		空調調和設備工事	
縮尺	図面No.	20	
作成者	作成		
	訂正		
資格名・登録番号及び氏名		伊賀市	
級建築士 第 号		建設部建築住宅課	
氏名		印	